京城日報
二十四日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 前金三ヶ月分一圓六拾錢 六ヶ月分 郵税
廣告料
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯 營業

時間表 (行南) (行北) [illegible]

○黎氏復職の意なし
段總理漫遊費支辨か

黎元洪氏は各省督軍の復職電請に接せるも辭意極めて固く既に家族を天津に移したるが黎氏は更に日本に赴き京都に寓居し子女を日本の學校に通學せしめたる後自ら歐米に漫遊する心算にて段總理は其の旅費を公費の中より支辨せん事を申出でたり但し歐米漫遊中親米派の廊前總統府秘書を同行せざるべきを希望せり又段祺瑞氏は黎總統が廣東に赴くを虞れ江大總氏をして思ひ止まらしむべく盡力せしめ居れり（北京特電）

▲黎元洪氏は多分東京附近の閑境を卜し移住する事となるべく其外國漫遊に要する一切の費用は支那政府の國庫より支辨せらる可し（北京電報）

○馮氏の上京は疑問

馮國璋氏の上京の條件たる二箇師團同提議は段總理の爲め拒絶せられたるを以て馮氏果して上京するや否や疑問となれり（北京電報）

○第一艦隊廣東に向ふ

北京政府を承認せざる程璧光、林葆懌、唐紹儀、王兆銘氏等を乘せたる第一艦隊の海圻、海琛、飛鷹等十五隻の軍艦は軸艫相啣みて廣東に向け出發せり（上海特電）

○露國兩大臣の兼任

首相の更迭に伴ひ遞信大臣チエレテリー氏は内務大臣を兼任し交通大臣ネフラーソフ氏は臨時司法大臣を兼任する事となれり（露都電報）

○米飛行機大建造案
上院を通過し大統領に廻附

米國政府は曩に飛行機二萬二千六百二十五臺の製作費三億六千三百萬弗を議會に請求したるが下院に於て二萬二千臺三億五千二百萬弗に削減せられたるも上院は政府案を其儘通過し同案は直ちに大統領の手許に回附されたり（華盛頓電報）

○原氏首相訪問

原政友會總裁は二十三日寺内首相を訪問し内外の政局に關し要談せり（東京電報）

○朝鮮師團兵員
本年徴集區域

來る十二月一日朝鮮第十九、第二十兩師團各隊に入隊すべき兵員は昨年と同樣左の師管より徴集す（東京特電）

▲第十九師團兵員 第一、第三、第十四、第十五師管
▲第二十師團兵員 第五、第十、第十二、第十七師管

○正貨九億

大藏省の調査發表によれば七月十九日現在の正貨九億一千萬圓にして去る五日現在額に對比し一億三千萬圓を增加せりと（東京電報）

○邦人義勇兵の戰死數

在加奈陀邦人義勇兵にて歐洲西部戰場に參加し名譽の戰死を遂げたるもの今日迄總計二十五名に達す（東京電報）

○東京商議會頭決定

久しく行悩み中なりし東京商業會議所正副會頭は選擧の結果愈々會頭は製糖會社々長藤山雷太氏副會頭は山科禮藏氏と決定したり（東京電報）

○總監天機奉伺

山縣政務總監は二十四日朝倫名に付き謹むで天機並に御機嫌を伺ひ奉る旨宮内大臣並に東宮大夫を經て兩陛下皇太子殿下に電奏する處ありたり

○王家天機奉伺

李王李太王兩殿下並に李堈公殿下は二十四日朝使を總督府に遣はし謹で天機並に御機嫌を伺ひ奉る旨兩陛下並に皇太子殿下に言上方を申し出でられたるにつき山縣政務總監は直ちに然る可く取り計ひ乞ふ旨在京長谷川總督に電報せり

○警務機關變更

二十五日府令を以て憲兵隊管區及び配置表中改正の件、警察署の事務を取り扱ふ憲兵分隊並に憲兵分遣所の名稱位置管轄區域變更の件、警察署の名稱位置管轄區域變更の件を發布し何れも八月一日より實施の事となれり

○輸出取締發布

戰時中醫藥品輸出取締に關する規程中改正の件、戰時中工業原料等輸出取締に關する件は二十五日府令を以て發布即日より施行の事となれり

○定例長官會議

二十四日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前八時三十分より總督府第一會議室に參集重要政務に就き協議打合の上正午散會したり

○鐵道併合打合

國澤滿鐵副總裁は久保庶務課長上田秘書役を隨へ二十四日朝南大門驛著入京朝鮮ホテルに少憩の上總督府に赴き山縣政務總監其の他と共に鐵道併合に關する打合せを爲せり鮮鐵側よりは和田加藤兩課長參列したり

○鮮鐵引繼準備

入京せる國澤副總裁一行は二十四日鐵道局を訪問せざりしも二十五日往訪すべし又鐵道局にては八月一日より其の經營の滿鐵に委任せらるゝ事確定し居るに付き各課の事務は何れも其の心組にて執りつゝあり併合に關する準備は夙に全部整ひ居れりと

○軍司令官待命説は無根
白水少將は動かん

本社某記者は八月一日行はるべき陸軍定期大異動の發表に伴ひ駐鮮軍司令官秋山好古大將は病氣の故を以て待命仰せ附けらるべしとの説をなす者あり右に付確聞する所によれば軍司令官は昨夏來任の前後は若干健康を害し居たるも駐鮮一年殆んど席暖まる暇なく南船北馬寧日なき巡視のため却て昨今多年來の健康は爲時を超ゆる者あり現に刻下盛夏の際なるに拘はらず馬を北鮮の險支國境に進め駐屯部隊の檢閲並に地理の實查を行ないつゝある位なり、大將が病氣のため待命となるべしとする説は首肯し難く又將軍は大將級中最年少の五十八歳にして尚ほ停年滿限には七年を剩し居る點より考ふるも其説の無根なるは疑ひを容るゝの餘地なし殊に兩報の如く軍參謀長白水淡少將は少將級の古參にして現に停年順より見れば第五位にあり從つて其中將に陞任し其要職に轉ずるは既定の事實なるに付司令官參謀長の兩首腦同日附を以て現任地を去るべしとは異常の際ならざる限り行はれざる事なりと

○滿鮮鐵道の統一に就て
鮮鐵の受繼ぎ終れば全線を巡る
國澤滿鐵副總裁の談

朝鮮鐵道一千哩を受繼ぎのため入京中の國澤滿鐵副總裁を朝鮮ホテルに訪ふ、其の談片に曰く、滿鮮鐵道の統一も

▲鮮鐵の經營 を滿鐵が引受くると云ふ形式の下に來る八月一日から實施さるゝであらう、其の結果滿鐵で鮮鐵經營の本部を支社とするか監理部とするか若くは管理局とするか目下調査中で未だ決定して居ないが、然し多分支社の名義は用ゐないであらう。驛の理事は當分一名の積りである、それでやつて行けやう又併鐵は直ちに鮮滿直通列車を一週一回の現行運轉以外に出せるかと云へば、何分鮮鐵と滿鐵とは其の客車の制度が異なつてゐる等の關係から卽急に實行する事は不可能である、但し同じく兩鐵道の統一を行ふ以上は一日も早く其の實現を致さしむる必要はあるであらう、予等は姑らく滯京して總督府當局及び鮮鐵との間に引繼の交渉を行ない、月末までに其の受渡しを了する筈だから、八月初旬吾々の手に移つた鮮鐵全線の經營狀態を一巡視する考へである。從つて其の歸任は、

▲八月中旬 となるかも知れぬ又新聞では予が鮮鐵受取のため多數の社員を隨へて來京する云々とあつたが既に旬日ならずして一萬近い社員が朝鮮に出來るので、此際何も滿鐵から多數の社員を引具して來なくても、在朝鮮の社員たるべき人に目の點は穎んで置けば大丈夫である滿鐵の職制改革も中央で立案されたやうだが、未だ予等は何等與り知らない、ハハア釜山では鮮鐵を滿鐵でやるやうになると

▲東萊や海雲臺 に大設備を加へると云ふ説があり然か、滿鐵は朝鮮の鐵道は經營するけれど溫泉屋にはならない、ドコからそんな噂が生れたのか、それこそ火のない所に立つた煙りと云つてよからう、さうした事は未だ何等考へてゐず又やる可き事でもないのである

○立花中將出發

第十九師團長立花小一郎中將は參謀副官主計軍醫等隨員十五名を隨へ二十四日午前九時三十分羅南出發列車にて元山に向ひ北鮮部隊檢閲の途に上れり歸任は八月中旬なり

○國澤副總裁入京

滿鐵國澤副總裁は庶務課長久保要藏秘書役上田恭輔の兩氏を從へ二十四日午前八時南大門驛著列車にて入京三本人見兩鮮鐵理事川上東拓理事其他鐵道局員民間有力者の出迎へ多かりき尚ほ副總裁は鮮鐵の引渡を受け其後經營狀況を視察し歸任する模樣なるが滯京は八月上旬に及ぶべしと

○高瀬東拓理事東上

東拓理事兼金融部長高瀬梅吉氏は業務擴張上に關する件に付中央當局と打合せをなす必要あり二十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上したり歸期は未定なり

○學校組合會議
服制問題は希望として當局へ上申

廿三日午後二時より京城學校組合會議を開き大正六年度戸別割附加減額の件を議し各等級を三等乃至一二等減額せしもの六十九名に對し七名丈修正の上可決し教員服制問題に關しては別に具體的の案を提出せず單に是迄の如き文官の服制にては兒童教育上種々の弊害多きを以て相當の威嚴を保つべき別種の服制に改められたき希望を當局へ上申するに止むる事と爲し其他の追加豫算更正の件を可決して午後五時散會したり

○仁川道路擴張工事

豫ねて準備中なりし仁川花町道路擴張工事は土地收容其他の關係上著手の運びに至らざりしが今回大體の方針も定まりたるより花町宮町の有志は市内有力者よりの寄附金募集を開始し豫定の金額纏り次第府當局と協議をなし工事に著手する筈なりと（仁川）

○貨物取扱手數料改正

南大門驛前に於ける運送取扱業内國通運株式會社京城支店及び京城運輸組合十二店は今回諸物價の昂騰に伴ひ人夫賃の增給取扱手數料等の値上げを餘儀なくする必要に迫り此程來屢々集合して各店一定の賃率を協定し別項廣告にもある如く來る八月一日より値上げ實行する由

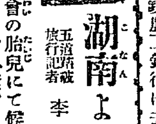
○平安丸處女航

朝鮮郵船會社より神戸川崎造船所に注文したる同社浦鹽航路船平安丸は二十三日午後七時三十分釜山に入航したるが二十四日正午釜山官民重なる人々を招待して披露宴を催し同五時浦鹽に向け處女航海に就けり

○成鏡農銀の總會

當地元山里なる成鏡農工銀行は去る廿一日午後一時より株主總會を開催せり道廳よりは木島事務官臨席せるが附議せるは今期配當案と江原道江陵に於ける支店設置の件にて配當は八分江陵支店設置も決定議として不日開設の運びに著手すと（元山）

○湖南より



五道踏破旅行記者 李光洙

◇裡里は都會の胎兒にて候。未だ眼も鼻も付かぬ、血の塊とも申すべきか。日に月に太るのみにて形も定まらざる怪物に候へ共、其の形の定まらざる所に、裡里の無窮なる將來は藏せらるゝなり。肥沃なる全北平野の、無限とも云ひつべき產米は、此の胎兒の無限なる營養となつて、遂には一人前の立派なる大都會でなすには止まざるべしと存候。

◇裡里は朝鮮に於ける、新興都會の據本とも申すべければ、裡里人士の責任重しとも重しと申さざるべからず。希はくば理想的の完全なる新都會となし度きものに候。

◇都會の眼目なる家屋が、餘りに假普請的なるは、新開地の常として已むを得ざることゝは申せ、新都會の將來の爲めに甚だ不詳なる事と存候目前の利益のみに眩惑せずして、永久的の計畫をなして欲しきものにて候。朝鮮內の凡ての都會に於いて然らざるなしと云へども裡里に於いて妹に此の感を深く致候。されども今の所にては斯かる贅澤を申すべきにもあらず、只唯丈夫に大きく太りさへすれば其れにて好かるべし。

◇裡里の戸數約八百、內地人戸數約五百なる由なれば鮮人戸數の約二倍と見て可なるべく候、而も鮮人の商業は甚だ振はざる樣に見受けられ候此は決して健全なる發達とは申すべからず。朝鮮に於いては、日鮮人の平行なる發展ありてのみ、始めて健全なる發達と申すべしと存候。

◇此は勿論、鮮人の實力及び知力の劣れるが爲なるべし、敎育普及經濟自覺起りて、活潑に資本を運用すべき時季を俟つの外なかるべしと云へ共、差當り鮮人の商業の斯迄振はざるは、其の一部の責任內地人にありと信じ候。何うしても內地人は內地人同志と云ふ風にて、鮮人を除外視し或は競爭者視する傾向なきにしもあらざる由、聞及候が此にては到底平行の發達は望むべからず、內地人より進んで鮮人に對する差別的障壁を除き利益あれば共に享受し、損害あれば共に助くるの心掛ありて、始めて完全に平行の發達を實現し得べく、斯くして始めて、完全なる朝鮮の發達は望み得べしと存候。鮮人の商人によりて內地商人の敵視せらるゝ限り、兩民族の融合は幻夢に終るべしと信じ候。然るに此障壁を設くると設けざるとは、一に先覺者として內地人の上に係れるに候はずや。將に無限に發達すべき、運命を有する可愛き新都會裡里の前途を祝するに當り、裡里をして同時に日鮮人平行の發達の模範たらしめよかし、と切願して止まず候。

◇一眸際みなき全北の平野に、日に月に太りつゝある裡里、米の都にして將に湖南の都にもならんとする裡里は、近き將來に於いて堂々たる雄姿を吾人の眼前に見はすべし、如何にも稚氣に滿ちたる、乳香兒の如き裡里を見ては、將來の發展を暗示されたる如き心地致し、其の生氣滿ちたる姿を見ては、欣喜の情禁ずること能はず候。（七月九日裡里にて）

○日本海沿岸視察

朝鮮郵船會社にては愈々八月一日を以て平壤丸をして横斷試航の途に就かしむる筈なるが元山商業會議所にては年來の宿望たる同航路の實現に際し彼岸の商工業視察の必要ありとて去る十八日臨時評議員會を開催し評議員中二名及び江原書記長心得を派遣することに決したるが一行は日本海沿岸の各重要地に於ける產業狀態に就き調査を爲したる上大阪を經て歸元する豫定なりと（元山）

○長春雜信

▲蒙軍の近況 洮南府に占居せる蒙古軍の行動に就ては世間往々に誤り傳へらるゝ事多し過般蒙軍索倫山を超れ南下せんとする等の報道各新紙に掲載せられ居るもそは誤報なり實際は同軍が過般來警備配置の變更を行ひ同時に警戒區域を少しく前進せしめたるを誤り傳へたるものなり或は最近懷德縣の巡警三四百名蒙軍南下の報あるより討伐に向へりと傳へられたるがそは洮南府附近に蟠居せる二三百より成る馬賊の一團昨今高粱繁茂の期を利用して附近を荒せるを蒙軍と誤り傳へられたるなり、されど勤皇第二軍と稱し約八千の部下を有せる劉と云へる者の率ゆる一團は從來歸化城方面に在りしが漸次北進して目下林西附近に在りと云ふ或は巴布扎布の蒙軍と合體して內蒙獨立を圖るに非ざるか

▲孟督軍排斥は嘘 曩に先に復辟贊成を唱へて省內に黃龍旗を掲げしめ僅に二日にして再び民國旗を標榜して物笑の種となり其の罪を部下に塗て己れの責任を轉嫁せんとせし吉林督軍孟恩遠氏の歸去により排斥運動起れりと傳ふるものあるも事實は然らず孟氏歸去の上は其の部下は何れも孟氏恩顧のもの而已にて殊に郭省長の如き溫厚なる學者なれば孟氏を逐はんなどと畫策する人にあらず朝に吳に與し夕に越と相結ぶは支那人の通有性とて何人も左程意に介せざるものゝ如し

▲昨今の哈爾賓 長春朝鮮銀行支店長上田直秀氏は行用にて哈爾賓に出張したるが其の談によれば氏と同行の京城丁字屋洋服店員は停車場より埠頭邊に赴かんとせる途中兇漢五六に襲はれピストルを多數發射せられたり幸ひ傍に在りし空馬車の下に身を隱して漸く危難を免れたるが之等は尋常茶飯事に屬し市中に於ては每夜殺人行はれ料理店の如き日々暴行に苦しみ、平素殷賑なる市街も夜間は何れも門戸を堅く閉して往來人影なきが如き或は兵卒と將校との喧嘩各所に於て行はれ互にピストルを發射し彈丸各所に飛來するが如き實に殺伐たる有樣也（長春二十日發）

○堤川

▲學校組合管理者更迭 組合管理者奥村藏氏は家事上の都合に依り辭表提出中の處今回許可後任として郡庶務主任中尾根與六氏任命さる▲組合議員補缺選擧 組合會議員四名缺員中の處八月七日堤川學校組合事務所に於て補缺選擧施行▲衞生消防組合面經營 從來衞生消防組合は民間にて經營せしも今回面制施行日後は面にて經營すべく當局者に於て協議中なる由

○木浦

▲海水浴場開き 木浦海水浴場は歳を重ぬるに從ひ改善せられ數年前より海水浴兼避暑の爲め各地方より來木する者多きより本年は殊に浴場の設備を完全にすると同時に外來客の爲め諸種の便宜を計るべき設備をなし愈々去る二十一日を以て開場せしが暑氣未だ烈しからざる爲め浴客多からざるも午後の盛時は百數十名を算し日々盛况に向ふべし尚警察署にては例年の如く警備船又は傳馬船を出し附近を警戒し陸上には水道栓を開放し拭上げに備へ居れり▲學藝會とお伽會 木浦小學校にては去る二十日學期終業式後學藝會を開き生徒の話し讀書、唱歌及び賞品高等女學校の手藝品展覽を爲し多數の父兄母姉出席盛况なりしが二十二日は午前九時より敎師及び松原含藏師其他のお伽話ある筈なれば盛况なるべし▲暑中休暇と復習會 曹洞宗木浦布敎師多羅尾道瓊師は暑中休暇中兒童の爲め每日午前八時より九時迄復習會を催し時々お伽話を加へ忠孝信義の啓發に加へ專ら精神修養の爲めにせんと準備なるが暑夏の行事としては最も妙なりと云ふべし▲部長濟州巡視 憲兵隊警務部長は二十二日木浦發第二扇海丸にて濟州島視察の途に就く筈なるが歸木は二十九日頃なるべしと▲檢事著任 千綿新任檢事は二十一日著任せり▲三原技師上京 模範場木浦支場長技師三原新三氏は東京へ出張を命ぜられ二十二日出發八月上旬歸木の筈▲李氏出發 毎日申報五道踏破記者李光洙氏は病氣全快廿二日朝郵汽船にて多島海を視察し麗水へ出發せり

人事消息

▲古川賢治氏（古川合名社長） 二十三日夜入京同本へ
▲小瀧元司氏（久原鑛業所長）▲柳井松衛氏（同上）
▲愛知縣教育視察團一行二十三名 二十三日夜北より入京旅舍へ
▲小出判事 二十四日午前京城地方法院より全北井邑支廳へ赴任
▲佐々木陸兵中尉 二十四日午前沙里院へ
▲前川、高田、柏木憲兵中尉 二十四日午前元山へ
▲小柳津正蔵氏（大阪砲兵工廠檢查官砲兵少佐） 二十三日夜內地より入京朝鮮旅館へ
▲入江理財課長（總督府） 二十三日夜大分縣別府へ
▲三田咸北第一部長▲佐藤全南第一部長 二十四日朝退京
▲寺師正平三氏（浦港貿易商） 二十四日夕退京
▲佐藤修二氏（總督府技師） 二十一日黃海道遂安郡遂安面安北道安北道雲山郡に出張を命ぜらる
▲上田駿一郎氏（鐵道官） 水原に開會の實科敎員講習會開會式に參列の爲め二十一日附同地に出張を命ぜらる
▲菱田弟次郎氏（統監府總務長） 二十四日朝退京

松閣

今朝 天彰

忽開○平地起濤聲○七月人間暑亦清○松閣日長無一事○倚欄唯見綵雲生○

海雲臺養雲瀑

海雲臺から東萊へ
海と山と温泉に (六)
瀑は七彩の虹を帯び 高原の冷風に吹れて

温泉場を巡ぐる僊川を溯つて私共は養雲瀑を見に出掛けた、青い稲田の上には海の遠鳴りが響いて涼しい風がサヤ／＼と渡つてゆく稲田の間を通り抜けると小さな村落に出た島や海岸でよく見るやうに此の村落の家の周圍には皆な高い石垣が積み上げてある竹藪が其處彼處に茂つて内地の田舎と同じやうな趣である村の背後は小松の茂つた丘草地で

◇◆◇ 國内山公園と命名され李王家の別邸の豫定地

も此の丘上に在ると云ふ、未だ丘は長く同じやうな高さが何處までも續いて居る顧みれば海は丘の小松原の上に見わて静かに遠い潮の音と共に涼しい風をサツと吹き送る山で見る海は海岸で見る海と全く趣を異にして滄青の波は神秘の底光を湛へて居る十二三町も續いた松原の中の平坦なる小徑を下ると再び僊川の磧原に出る水は水田に灌水する爲めに各所で堰き分けられて石磧の真中を僅かに流れて居る河の左右は山が迫つて河は漸く渓流の狀態に成つてゆく兩方の山からは

◇◆◇ 北渓谷に向つて居色の岩石が流れ出した秘渓

い形を成して居る、其の邊から流れ落ちる幾筋もの細流の水際には濃い紫の杜若や乳白色の水百合などが一面に咲て居る半里ばかり磧の中を進むと谿川は所々に小さな瀧の形を爲して水晶簾を懸けたやうに優しく落ちて涼しい瀬の音が絶間もなく聞へて來る其の間を進むと大きな黒色の岩が門のやうに突き立つて其の間に七彩の美しい虹が跨つて居る轟々たる瀧の音が水煙と一緒に岩の中から吹き出して來る岩の裾を通ると瀑は正面に見わる瀑は高さ三丈位あつて碧を湛へた瀧壺に落ち込で居る

◇◆◇ 冷たい霧が入た眼つて夏の暑さを忘れしめる

充分に涼を貪つて猶も上流にある一つの瀧を見に行つたが最初の瀑が最も好いと思つた朝鮮貴族の植林組合で此の邊に澤山の櫻アカシヤ等の苗を植付て居る瀧から一里ばかり進んで僊川の谿谷を出ると其處からは目も達かぬ程の曠々とした院洞高原で僊川は此の高原の地隙を流れて來るのである如何なる旱魃の年と雖も曾て此の川の水の涸れた例は無いと云ふ海拔二千尺に近い

◇◆◇ 此の高原の草原には秋のやうな冷やかな

風が吹いて野菊や尾花や女郎花などが澄み切つた空に映つた風のまにまに起き臥して居る、高原の隅に立つて胸一杯に澄み渡つた空氣を吸ひ入れ再び僊川の流れに添つて温泉場に下つた (海雲臺にて旅村生)

石油船火事
數時間經過するも消火せず

仁川慶田組所有船第九、二十號川内丸の兩艀舟は廿三日入港の漳州丸より石油二千三十六箱酒精二箱ベンジン油二十一罐を積取り滿石洞製鹽所前に繋留中二十四日午前三時三十分頃に至り突然第九號川河丸より發火し瞬く間に石油罐に燃え移りたるを

紅蓮の焔に 包まれ黒煙濛々

以て消火の途も無く同四時頃に至るや全船殆んど紅蓮の焔に包まれ黒煙濛々と立騰る様は物凄き程なりき、此時恰も干潮時なりしを以て數間を隔て繋留しありたる第二十號は避難するに由無く遂ひに火熱の爲めに石油は溶解するや否や火はパツと燃え移り又瞬く間に紅焔濤を卷き黒煙天に沖し一時噴火口の如き光景を呈したり、急報に接し仁川警察署長は部下數名を引率し常備豫備消防隊も又時を移さず駈けつけたるが何分滿載したる石油が

勢ひ凄じく 燃え上るのみならず潮は漸次滿來りし爲め消防の施す術も無き有様なりき斯くて午前八時頃の滿潮時に至るや船中より落下する石油罐及び船體の一部は火焔を吐きつゝ停車場方面に流出したるを以て碇泊中の船舶は危險一方ならざりし爲め消防は專ら此が消火に勉め漸く延燒の厄を防ぎたるが正午に至るも鎭火せず黒煙なほ湖上に漲り

數時間後に 非ざれば消火せざる可し發火の原因は目下取調べ中なるが被害物中石油の荷主は鈴木酒精は範多商會ベンジン油は川勝氏

郵船但馬丸
武裝して歐洲へ

過般武裝せる日本郵船會社船但馬丸は愈々二十三日歐洲航路に就けり(東京電報)

にて總損害高一萬圓以上に上り艀舟は約五千圓の損害なる可しと

無條件にて約
三千名復業
大阪鐵工所の職工同盟罷業

大阪鐵工所因島工場職工の同盟罷工は二十三日より無條件にて約三千名復業せるが其の他の職工も亦漸次復業すべき見込にて主謀者は檢擧をるゝに至るべし猶此の同盟罷業の爲め同鐵工場の受けたる損失は約五萬圓に上れり(大阪特電)

百數十名感電
一名即死す

島根縣簸川郡大津村にて廿二日夜出雲電氣會社電燈線に感電したるもの百數十名に達しコードに觸れて即死せる者一名あり目下取調中(大阪特電)

刑事變裝して證據押收
釜山不正貿易商檢擧と檢事正の意見

不正魚肥料移出事件に關し既報の如く釜山海産物商淺海彥太郎、吉村善平、中島秀次郎、加賀藤今太郎、三井田新次、布谷商店、竹内虎一、橋本ふさ、齋藤七三郎等釜山署の手に檢擧せられ目下取調べを受け居れるが探聞する所に據れば豫て屢々本紙に掲載したる釜山より内地に移出する干鰮及び〆粕の肥料に

多量の土砂 を混入し不正の手段を行ひ暴利を貪り居れること下關問屋組合に於て發見し少なからぬ損害を蒙りしより直ちに釜山の同業者に之れが改善を促がし一面釜山商業會議所に對し注意を求め其旨下關商業會議所に建議したるより同會議所は總會の結果之れが取締法の制定を農商務省及び朝鮮總督に稟請し專ら正業者の保護と不正業者の防遏に盡力し猶ほ釜山商業會議所に對し

之が取締法 の手段を講ぜんことを要望し來りたる由を聞込みたる釜山警察署は内密取調べ中のところ計らずも牧の島に於て森彥七外三名が砂を赤崎半島海岸より採收し來り牧の島の山麓より黄色の土及び赤色の粘土を採取して潮水に溶解し二割乃至四割の割合を以て土砂を魚肥に散布せることを探知したるより刑事は變裝して同混合土砂を買取る如く裝ひ

遂に證據品 及び帳簿を引上げたるに該混合土は專ら釜山海産物商に供給し居り其數甚だ夥しく可き多額にて最近判明せる分のみにても一叺百二十斤入四百二十餘叺に達し之が譯入商は前記の外名人及び海産物商等の重なるもの多き由にて釜山にては未曾有の出來事として一般の注意を惹き且つ貿易業者は釜山警察署の果斷を賞賛し此機會を以て一般貿易業者の覺醒を促進するものなりと成行に注目し居れり本件に關し記者は釜山地方法院に

大村檢事正 を訪ひ意見を叩きたるに同檢事正は語りて曰く斯かる事は既に聞き込みたることにて入し不正の手段を以て輸出を爲して居れる事は商業道德の上に於て釜山魚肥料輸出業者が多量の土砂を混入し不正の手段を以て輸出を爲したる悪行爲なり殊に貿に言語に絶したる悪行爲なり殊に釜山の重要物産にして益々發達を計り輸出の増進を企てざるべからざる鑑ふるが如きは憎みても猶餘りあることとなり商人は利を以て起たざる可らずとは謂へ斯かる手段を行ふものは道義上

寸毫も許す べからざることなり然し商取引上に於て生じたる事柄に就ては今濫りに裁斷を試むること能はざるも警察署に於て

獄中より控訴

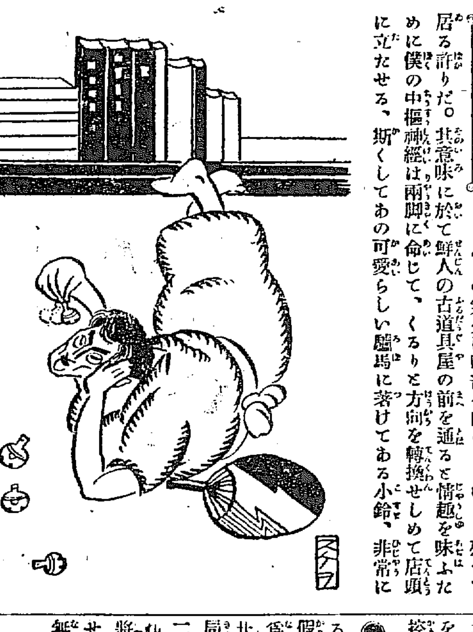
下關市豊前田町生れ忠南大田春日町一丁目丸岡秀之進方に同居中なりし大工職良助事今井丈吉(三二)は前科四犯の曲者にて賭博罪に依り目下公州監獄に服役中なるが同人は豫て面識ある京畿道安城邑内面西里居住の原川國松長女まつよ(一七)以下の幼兒を殘し置きて妻が病死して難澁し居るを知り國松に後妻を周旋す可しと勸め大田黄金町小間物商上田某方に下女奉公中の鎌田やすを說き本年三月十六日同女を連れて國松方に至りやすは雇主より無理に借り受け連れ來りたる次第なれば其の代りに長女まつよを棲み込ませ呉れと欺きて翌十七日遂にまつよを誘ひ出し大田に同伴したる上女中奉公するよりも寧ろ酌婦となるが有利なる如く說きて事情を知らざる大田の浦部きわの手を經て忠北永同郡秋風嶺の料理屋佐藤平七方に前借金六十圓にてまつよを賣り飛ばし衣類代金手數料等を差引き殘金四十八圓を得たる餘罪あること獄中にて發覺し丈吉は此の程公州地方法院にて懲役三年の判決を受しを不服とし獄中より京城覆審法院に控訴せしが立會檢事よりも控訴せり

司法行政の兩道より彼等を檢擧し嚴密に取調べ中なりと云へば何れ其結果の報告に接すべきに付本官も愼重に取調書類を檢閲し法に據りて處斷すべきものは假借なく其手續に附すべし(釜山)

男女頭髪用(デッケびん油時代遅れ) 本椿ポマード 本舗 大阪西横堀 三宅堂

室内涼味 (1)

京城の朝鮮情趣が四門から破壞されて、ほんとの氣分は唯部分的にちよい／＼殘つて居る許りだ。其意味に於て鮮人の古道具屋の前を通ると情趣を味ふために僕の中樞神經は兩脚に命じて、くるりと方向を轉換せしめて店頭に立たせる、斯くしてあの可愛らしい鹽馬に著けてある小鈴、非常に精練された音をもつてゐる小鈴の數個を得た、行水を使つて二階に上ると僕の手は無意識に其鈴の一つを取つて一デシメートルの距離で振つてみる忽ち僕の顏面筋が緊張する、此時なり其時なり風鈴の如く俗ならざる清徹した鈴の音は蕭瀟の涼味と化して身は夕日さす室に在るを忘れしめる。(紡雄)



誇大なる廣告を利用して
全國より十餘萬圓詐取

北濱の株式通信社は現物賣買に就き誇大の廣告を爲し全國より十餘萬圓を詐取せし事暴露し同社員は拘引せられたるが此の外猶大阪には新聞に誇大の廣告を爲して地方人より金圓を捲き上げんとする者多きは一般に注意すべき事なりと(大阪特電)

虎寝込みを襲ふ

全南和順郡同福面佳水里居住鄭處禮……五寸横三寸深さ一寸五分位を嚙み取りたるより處禮は痛さに堪へ兼ね悲鳴を擧げて跳き上りたるに虎は更に……しと目下同地特別狩獵者間に虎狩の協議中なりと

慈善音樂會 二十五日より三日……

連絡船上陸客

二十三日午前八時釜山入港さくら丸一二等客(二等四名)古川政治外人三名(三等三十九名)……二十三日午後九時釜山入港壹岐丸一二等客……松尾多……杉山久……梅吉、桃井省三、……金わか、村上丈夫、佐藤七太郎邦人一名(三等二百五十一名)

元山赤痢下火

元山に於ける赤痢は累計百三十餘に達したるが假病舍の竣成と共に從來自宅治療を爲さしめ居たる數十名の患者は去る廿日より全部之れを避病院に移し當局の防遏に努めたる結果最近毎日一二名餘の發生に過ぎず漸く下火となれり御軍隊側に於ては其後兵卒十名將校一名將校家族三名の患者を發生せるも之赤數日前より一人の新患者無し(元山)

讀者文藝 (一等に五十錢)(二等に……を呈す)

△川柳「平」 京城利川 ふの字

○公平に庶子は少く與へられ(一等)

行平で※子の汗を一合沸き 京城 狂史

△貧乏神平な道に抜を付け 元山 内山 渓想

△不然としてるが妻の大不平 仁川 龍 廼 舎

【讀者文藝】課題及び募集規定 ……

△募集規程 △用紙は端書又は……明形の洋紙一枚限に記入……住所氏名明記の事……

天氣 は 晴れ驟雨 (七月廿五日……)

商況

公債直取引(電報)

二十三日東京…… 八八、一〇〇

深川正米特電

二十三日現在高 ……

東京期米特電

二十三日前場 八月限 ……

大阪株式

二十三日前場 ……

大阪三品特電

二十四日前場 ……

大阪期米特電

二十四日前場 ……

下關期米特電

二十三日後場 ……

雜報

三品立會開始
大阪三品市場は去る二十一日硬派の勢力次第々々振ひ前場寄付四百七十圓より五百四五百五十圓買を呼び……

二十四日より立會を開始する……

意外なる反落 ……

七十の兩限四百九十圓臺其他の各限六十圓臺 ……

値を報じ漸く安堵の色を示したり

綿布は龍シート三圓二十錢 ……再び活氣附

製粉は强保合 ……注文滿腹に態度

下關相場
朝鮮白米は不引立……

京城正米
……

大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番

南大門の廻穀
天安玄米 四〇叺、仁川粟 二〇〇叺、仁川粟 一五〇叺、……

釜山穀物 (廿三日)
正米(十錢安)……

勤機待ち
依然小相場 安値は底強き感……
利喰急……
土用入り後の照り込み 申分……
勢は依然强人氣にて各方面の形勢……
正米界の形勢
一反撥 一段の押目
正米の近情

今村覺次郎
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番

保合底強し
天候 晴 天今……

市場零聞

二十四日前場
仁川期米 (底強し)
大阪天候晴 二錢安 ……

十九錢と高移 大阪三節七……

生魚市場
仁川……

釜山水産市場(二十三日)

牛皮輕目物氣直 小皮物は稍々氣直
頗る強硬
海産物區々
氣配良好にて……
引合は産地相場と不……
確實(……)迅速(……) 廣瀨正太郎
白米卸又値上げ 二十三圓七十錢
岩井と支那輸出
黄海道方面に……
十萬叺を……

三巳仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話……

仁川米豆取引所
二十四日の九月限
寄付	二十一圓十四錢
止め	二十一圓二十錢
高値	二十一圓二十錢
安値	二十一圓十四錢
出來高	一萬三千八百石

前場 平均値段
一節	二十一圓十六錢
二節	二十一圓十九錢
三節	二十一圓二十錢
四節	二十一圓二十錢
五節	二十一圓二十錢

賣買取組高
七月限 一萬四千八百石、八月限 一萬七千九百五十石、九月限 四萬二千九十石

現株賣買中値
名稱	拂込	前當	時價
東拓株	五〇圓	六分	八一圓〇
朝鮮郵船	二五	一割	四一
朝鮮興業	五〇	八分	七八
……			

白米標準値
二十三圓七十錢

小賣白米
現金賣 一等白米 二十四圓 …… 二十三圓五……

仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話……

突の扉を開放して只獨り就寢し居たる折柄一頭の猛虎温突内に侵入し熟眠せる處禮の右足大股部の肉を長約…りたるが急報に接し憲兵出張公醫診斷の結果に依れば治療約一箇月餘を要すべきも生命には異狀なかるべ

…收容所慈濟會の爲めに慈善音樂會を開催しつゝ…かの淨瑠璃、荒牧輝風氏の琵琶、家村佐藤兩氏の尺八、太田與志氏の箏、大塚、清水、岩崎氏等のヴァイオリン、ピアノ伴奏等ある筈

● 涼しい別天地

葛麻半島の外人村

斗南里に百三十餘名の避暑生活

元山が赤痢騒ぎで今年の避暑客や海水浴客が影も見せないに反して葛麻半島の一角斗南里の今日此の頃は實に賑やかなものだ既に今年は外人宣教師連の避暑してゐるもの百三十名餘に達して居るが未だ二十名ばかりは來るとの事である

◆來遊希望者 は澤山あるとの事だが何分家屋の設備が現在の處では百五十人以上を收容する事が出來ないとの事である日課としては凡てが宣教師の家族達丈に神の道に研究餘念が無い殊に避暑を利用しての日鮮語學の講習はなか／＼盛んで老いも若きも

◆一生懸命に 勉強して居るこれ等は凡て午前中に行はれるが午後の日課として盛んに運動をやつて居るベースボールやテニス其他種々雜多な運動を毎日の樣にやつて居る殊に日が正に落んとする夕暮れ頃の泥岸は彼れ等が最も愉快とする元山の海に山に白砂青松の

◆濱邊を逍遙 するのであるげに東洋のパラダイスと呼ぶ斗南里は彼れ等の爲めに世界に紹介さるゝ譯である現に數棟を增築の計畫中であるが尚本年内に今三棟を合せて二十二棟出來て居るがそれとても收容されぬと云ふのである、彼れ等の大部分は

◆六月頃から 來始めて十一月頃迄約半年を此所で送ろうと云ふのである此向きでは年と共に一大市街を造るに至るであろう、今年は彼れ等が一番苦痛とする處は元山に出られぬ事で赤痢の噂をしては之を殘念がつて居る

◆飲食用器を叮嚀に洗へ

本町署の夏季衛生取締

京城本町警察署にては過般來夏季衛生上の取締りにつき種々勵行中なるが此の際氷、雪濁京、飲料水漬賣業及び其他類似業者に對し露店にて營業するものは用水方並にコップの洗滌を充分ならしめ飲食器を叮嚀に洗滌すること尚活動寫眞館、劇場等にて販賣する飲食物を夜間殊に取締り厠所芥溜等に消毒を施すこと等に就き目下毎日警官出張して勵行中なりと

◆有望なる桐栽培

六七年目に賣れる

内地に於ては十數年來桐の木に天狗巣病、萎縮病等の發生夥しく殆んど桐栽培は不可能の事とせられしに拘はらず桐材の需用は年一年に增加し常に内地に於て供給不可能なるより南滿方面より輸入し來りたるが近時朝鮮に於て桐栽培に著目するもの頗る多く猶且つ氣候地味等

▲桐の栽培 に適するものあるを以て近年益々栽培者增加の傾あるも未だ專門の事業として桐畑を經營するものは至つて尠少なるが如し桐の適地は砂礫土質にして排水の便多き傾斜地又は多濕ならざる

▲宅地附近 に適するものにして最初は苗木を購入するは最も不經濟なれば桐の根を購入して之を四五寸乃至五六寸位に切斷して地中に埋沒し置く時は陽春四五月の交自然に發芽生育するを以て之に適當の除草施肥をなし生育を助け

▲翌年三四 月の交之を掘り取り適當の畑地に移すを可とす、斯くして第二年目の中耕施肥除草、芽缺き等適當の手入を爲す時は約三四尺に成長するを以て第三年目の四月中旬頃地上より五分乃至七八分の處より樹幹を剪除し新芽を吐かしむれば

▲五六尺に 達するに至るべく尚ほ前年の如き方法を以て第四年目に三度主幹を剪除し施肥中耕等其宜しきを得ば第五年目にては優に一丈五尺乃至二丈に達するに至るべし斯くの如く相當の保護を加ふるに於ては年々の伸長意外に早く

▲六七年の 後には二丈乃至三丈に達する巨大の桐樹を得べし、其の間の注意は適當の枝下を見計らひ芽缺きを忘れざる事、盛夏の候より初秋の候に於ける極熱の際樹幹を遮ぎる事、又は藁等を以て包むにあらざれば水分の吸收を防げ夕陽の當る方の樹皮を損傷するの恐れあり隨つて

▲優良桐材 を得る事能はざるのみならず意外に生育を妨げらるべし斯くの如き順序と注意とを怠らざれば七八年の後には周圍三四尺に達し一本の市價三四圓に達するは蓋し難事にあらざるべし猶特に研究を要すべきは密植の弊なれば

▲一坪一本 即ち反當百五十本又は百二十本位を適當とすべし且つ一回採伐の後は新に植付けを要せず其の切株より生ずる新芽を適當に保護剪除宜しきを得るに於ては四五年の後には再び桐材として市に出すを得るに到るべし要するに桐栽培の事業は其の經營者の熱心如何によるべく最も有利多望の事業なるに疑なし云々と某當業者は語れり

◎水道の補ひに

掘井戸を使ふ

▽大連と上水道の缺乏

大連上水道の缺乏は其影響が漸次擴大されて市民の蒙る迷惑は一通りでないそれがため普通掘井戸の水で其困窮を補ふより外に應急方法がない事になつたから近頃は善かれ惡かれ若も飲用水に適せなければ雜用水なりともと云ふ位に盛に活用し始めた其數は昨年の調査に依ると飲用に適するものが三十四、雜用に適するものが三十四五、飲雜兩用に不適なのが五十餘であつたが本年に這入つてから乖々と鑿井を出願して掘つた井戸は市内で十位小崗子方面では廿位あるそうだが此の新掘の井戸は大抵飲用水に適すると云ふ事である由來大連の土地は傾斜してゐるので何處を掘つても大抵は水が出るそして一つの井戸で特殊の商賣でない普通の家なら十戸位までの供給が出來るだけの水量がある尤も其費用が二三百圓を要するから矢鱈に奬勵する事は出來ないが井戸掘鑿に適當な地であつたならば此際鑿井する事は無用ではない又水質が比較的良好だといふ事は大連の市街が建設以來未だ日尚ほ淺く地表を餘り汚濁して居ないと云ふ事が最も鑿井に有効條件で從つて地表水が掘井戸に浸出するに當つて汚水は尠い譯であるとは某當局者の話であつた(大連)

淨瑠璃だより

◆東京の有樂座で女太夫一派が子供役者と合同して淨瑠璃劇身振狂言と云ふのをやつてゐる名を聞けば面白さうだが實際は間の拔けたものだとの事だ、矢張り身振狂言は文樂式の人形に限るテ◆永樂町の盛萬町に義太夫三味線御合はせ所と云ふ看板を出した家がある、京城も開けたものだ◆合はせ所と云へば東京邊に行くとこんな看板をよく見受ける、誰れの教へを受けたのか分らぬ流儀違ひの淨瑠璃に合はせるといふのも隨分な話去年の春頃迄西小門町に『義太夫初心者指南所』と云ふ看板を出した寝澤某女の師匠といふのは五十格好の人で淨瑠璃會に出て何んでも師匠といふので三味線を彈くのに黒いジャケツ衣を着て出る◆首の廻りに飾りの付いたジャケツ姿で肩衣を着けた姿はあまり品の好いものでない◆殊更三味線は彈き難くからうと思つたがそれでも本人は平氣な顏で『ハア、ヨーイ』◆この頃は暑さが酷しいので素人の骨休みらしい

◎釜山各學校水泳會

公立釜山各學校聯合水泳會は廿一日より三週間南濱海岸に於て開場すべく同日午前八時より第一尋常小學校に於て開場式を擧行し水泳會の經過報告、會長及び水泳講師の講話、來賓の祝辭ありて同日午後より山本久一氏教師となり水泳場を開始せり而して入場校別及び生徒數は第一尋常小學校男生徒百五十六名女生徒七十九名、第二同上男六十五名女二十九名、第三同上男五十二名女十三名、第四同上男三十名女十八名、高等同上男七十三名女十八名、高等女學校女四十三名、修同上男三十五名合計六百二名にして内男生五百十一名女生徒百九十一名にして特別生として同會卒業者なるも特に教師の補助として男子三十二名女子四名入場せり

渚の砂

◉恐ろしい狂人 宮川郡兒玉町廿比生れなる鬼崎郡(三八)の入婿長崎縣西彼杵郡深海村鬼崎さき(三八)の入婿武丸(五十餘歳)は元大阪威與の汽船の船長であつた大酒から發狂し岡山から…港町市の海員倶樂部に立籠りたる際拳銃を發射して汽船の船夫某に向つた門司署の警官數十名が之れを取押へに向つたが十連發と七連發との拳銃を兩手に以て徹夜五時間に亘つて四十餘發を亂射して遂に警官一名に負傷させたが遂に取押へられた

◉坑夫の血煙 大分縣直入郡下竹田村生れ福岡縣嘉穂郡熊田村炭坑夫吉野定馬(三〇)は十六日夜鮮人坑夫と口論中大勢の鮮人に取捲かれたので大斧で二名に重傷を負はせたが駈け付けた池田巡査にも斬りつけたが遂に逮捕された

◉お化粧強盜 愛媛縣野間郡田熊村雜貨商…村上りう方に二十日夜面部に白粉を塗り立てた覆面の三人強盜が押入り家族を縛り上げて箪笥を締め現金一千七百圓を強奪した

◉中學生の家出 筑後大牟田市中學四八女中學四年生森武夫(一七)は二十日三池銀行から父の金五百圓を持ち出して家出した

◉特務大尉溺死 高知縣土佐郡…村の歩兵大尉田中稲造(四八)は十七日夜焼酎二合を飲んで鏡川に水泳に行き誤つて溺死した

◉大膽な假少尉 宮崎縣東諸縣郡高岡村籠田定美(二六)は熊本で陸軍少尉の軍服帯剣一切を求めて假少尉になり九州各縣中國二縣を…借りで自轉車を借受けて乘り逃げては賣り飛ばしたものが數縣其他の惡事のかず／＼を働き所島で捕へられた

◉死損ねて惡事 佐賀縣佐賀郡久保田村西岡源九郎(二三)は長崎市出雲町遊廓小松樓の娼妓駒吉事梅田もと(二〇)に入れ揚げて郵便局員を免職されたのを悲觀して數度駒吉に情死を迫り歸つて女から説論されて此度は惡心を起し郵便爲替詐欺で七百圓を卷上げ駒吉を誘拐して東京逃新紙旅行をしたので殘金が無くなり駒吉の本籍地熊本に舞ひ戻つた所を捕へられた

□漢江舟遊記

◎梨島附近の漢江は、今や正に納涼船を以て埋つて居る、能く塗れる屋形船、蓬の破せる朝鮮船、萬國旗をもて飾れる、赤の隔幕に丸提燈を吊せる船は、江上を我もの顏に占領して居る、風を孕んで眞帆片帆走る女の如く緩かに或は上に或は下に其間を縫へるも又なき風情である。

…と流れる漢江は、上流も下流も陸に圍まれて恰かも湖水かと疑はれ兩岸の綠葉よりは青嵐が流れて居る

◎麻浦の慈志家として名高き高允默君は二十日の日曜を卜して此江上に納涼會を催した、趙重應子爵、松永道長官、鈴木憲兵官、入澤第一部長、今村第二部長、中野、關屋、松井、宮館、渡邊の各局長、今關總督府參議、白崎鐵道取締、建部商銀行長、阿部本社長、中村毎日申報監事等が此日の來賓である

◎西愛の大形朝鮮船を連結して上に板を以て坐を張り、至にて屋根を葺き、竹の欄干さ柱には毛氈を敷き詰め、數十疊敷の座敷が漢江の上に出來て居る譯である。それに萬國旗を縦横に飾へせるなど當日の納涼船中確に一頭角を顯して居つた。

◎江面を掠め來る涼風は、肌に粟を生ずるかと思はれる迄に涼を誘れ、韓延燦士の奏づる朝鮮樂は涼風に送れて一高一低、龍宮王の寝殿も斯くやと疑はる。やがて軽羅を涼風に翻せる妓生の醜き舞の手は、龍宮王に侍ける美姫にはあらぬかと思はれた。(庭末生)

◎共保生命の新擴張 京都市油小路に本店を有する共保生命保險株式會社は明治二十八年五月の開業に係り爾來二十有餘年の星霜を閲し其業の經營に努めると同時に確實堅實なる營業を以て世に定評あり今大正六年五月末の營業狀態を見るに資本金一百萬圓積立金二百六十餘萬圓保險契約高四千五百十餘萬圓契約件數九萬九百件を超えたる如き盛況を呈し居れるが事業の發展に伴ひ今回新たに契約年齡の擴張及び保險種類の增加を計り新に保險種類を通じ滿九歳七箇月即ち契約年十歳より契約なし得る事と從來の養老終身保險終身の外に延壽養老副壽終身の二種を加へ保險契約者に極めて有利なる事を…するに至れり鐵道出張所は黄金町二丁目所長は橋本法學士にて赴任以來殆んど…に好成績を擧げつゝあり

◎味噌値上げ 府内市中に於ける味噌小賣値段は原料たる米麥大豆昂騰の爲め來る八月一日より百匁に就き五厘方引上ぐる由

けふのお菜

△茄子の刺身 中位の茄子を水洗ひして蔕先を切り去り鍋に水を入れて火にかけ充分に沸騰つた處で右の茄子を入れて軟かに茹で笊に揚げて水氣を去り之を板と板との間に挾んで其上から壓して水氣を殆んど全く水氣のきれた處で、更に縦に二分程の厚さに切並べ酢味噌を皿の上に敷き其上に盛りつけて出します 酢味噌の拵へ方は甘味噌百目を擂鉢で擂り之に砂糖中匙一杯半を擂り混ぜて皿の上に毛氈をふせ摺鉢をなし其の擂した味噌の中へ灰汁ぬき辛子を混ぜて御少々の酢を擂りまぜたもので之を茄子につけて食べるのであります これは精進料理の中でも殊に美味しいものであります 灰汁ぬき辛子は辛子粉を水で練り浅き皿の底へ押しつけ平に均らして置き其上に紙を一枚ばり附け其の上から熱湯を一杯注しよくおこつた炭火五六個を入れては消し入れては消ししますと灰汁がぬけますから水を捨て紙をはがして用ひます

西洋料理開業

私は支那人あります
私は今迄佛國公使館目賀田男爵邸津輕伯爵邸青木堂に滿二十ヶ年間コックをして居りました。今度始めて獨立營業して皆樣の御引立になりたいと思ふ事あります。
總て原料を撰み直段は極安く御客樣の御口に合ふ樣差上ます事は自慢して請合ひます
御客樣澤山く／＼來るよろしい
七月二十五日開業
京城本町二丁目四五(元清水材木店跡)
福海軒
主人 王文海 敬白
電話二七三七番

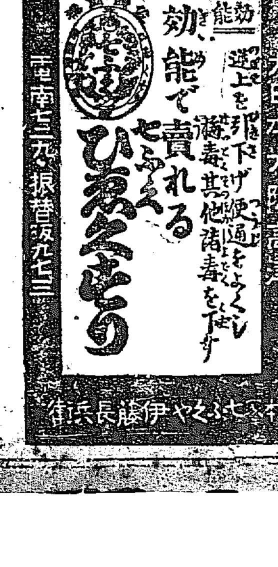
月刊 農藝之研究
只今申込直に讀め農藝家園藝家畜産家の幸侶伴主人雇人學生も讀め景品銀時計其他二百名限 振替東京二七八八二 東京本所長崎町 農藝研究社

選り拔きの大家出揃ひ
慈善大音樂會
七月廿五日より七月廿七日まで 三日間午後八時より
當る
◎目的 在朝鮮佛教八宗援助の許に慈善音樂會を開催し各位の御同情に訴へ而して其收入は擧げて京城佛教慈濟會(京城行路病者收容所)に寄附
◎出演者 京城に於ける各大家名手を網羅し並に東京音樂學校卒業生ヴァイオリンの名手大塚勇之助氏は夏季休暇中親戚なる當地某高官の邸に旅行滯在中なるを特に懇願致し出演を乞ひ氏得意の妙技を振はれ眠る京城音樂界を覺醒さるゝならん
◎演奏種目 琵琶、琴、尺八、淨瑠璃、洋樂
◉入場料 白券五十錢 青券三十錢
入場券は會場及び市内書店、樂器店にて發賣す
電話二〇五・五九七番 有樂館

乳兒の下痢と便秘
乳兒胃腸障害の場合に於ける營養療法として最近兒科醫間に賞用せらるゝ二大營養劑を左に御紹介致し候
◉第一「カラクトサン」
牛乳成分を消化し易く調節し下痢症狀を治癒し營養攝取を旺盛ならしむるものにして原因如何を問はず下痢症に對する理想的營養料なり
第二「マルツ汁エキス」
前者と反對に便秘に苦しむ場合の特効營養品にして如何に頑固なる便秘に對しても愉快なる通利の効を奏し且豐富なる滋養を供給するものなり
兩者共藥品に非ず滋養品にして且下痢若くは便秘治療の効を奏する上に於て理想的營養品たるの眞價を有す
東京神田 和光堂 大阪 横堀

△絶好の買場所 正貨は今や九億圓政府は、金融調節を計らんとするの奇觀を呈す資産家筋は靖和懸念の餘儀なからしめ一般手控へ居るも資金は何時迄固定を持續し得ず近來漸く放資を直ちに端株を買進めつゝある、これ頃日本端株に買の集注した所以であるこの際
公債株式現物問屋 東京市日本橋區坂本町十八番地
合資會社 桐生屋株式店
◉確實安全なる弊店獨得の現株賣買方は三錢郵券封入御問合次第直に即答
▼確實利殖成金讀本 成功致富の近路を詳細説明したる富豪學唯一の教科書也富豪たらんと欲せば必讀せよ三錢郵券十五枚 電話浪花二一五三番、二四五一番、五〇四八番、五二八〇番 電略登記、受信(トウケイヤマボッキ)發信(キリフ)又は(き)宛送本す

謹告
酷暑の候各位益々御清穆の段奉賀候陳れは最近諸原料騰貴の爲乍不本意來る七月二十五日より一部値段の改正を爲し原料精選の上一層勉強仕候間倍舊御愛顧の程偏に奉希上候 敬白
京城蕎麥商組合



★サッポロビヤホール
本町五丁目
京城花壇
電話二三二八番

豫報

…前田明、金昌坊、金暖鶴、李沃、岡山田きく、…太郎、下田早苗、同春子、同ひさ、大池ます、同辰雄、同孫子、小澤郁、山下五藏、市川春藏、田中末藏、石原松十、原庄太郎、丸山忠郎、小原延太郎、西宮あさ…

…男、同正雄、長谷川源太郎、…阿部光之助、白星泉、…宇都宮勝、小南不二、谷口孝一郎、島之内茂、…犬上かつ(三等八十一名)

△一日…「まつすぐに」 △舞踊「一昧」 △川柳「下」

同廿七日 同廿八日 同廿九日 同卅一日 同一日

廣告は二週間以内に五十錢の料金を添へ…何番何號と明記に限る△…名は京城日報編輯局諸者文藝係

▲京城温度 …

京城日報 大正六年七月二十五日（水曜日） （夕刊） （四）
第三千五百四十一號

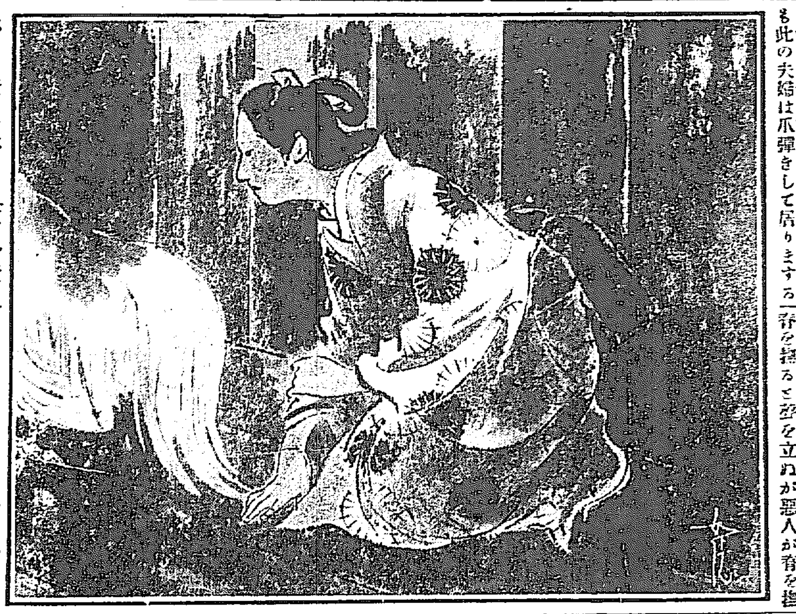
明君道中記

第二百十六席　田邊南龍口演

按察周防守が太田仲太夫に申付けて下立賣の芭蕉屋庄右衛門夫婦の身の上を取調べさせました處、庄右衛門は久留米の浪人にて國元を立退き諸國を巡つて暫く鳳山寺の大月和尚の許に居りまして、先代庄右衛門と懇意を結び屢々出入をして居つたが、女房おなかと宜しからざる風聞が立つた、内に先代庄右衛門の病死間もなく東馬入夫となつて二代目庄右衛門となりしものゝ由、又妻のおなかは以前祇園新地の藝妓上りにして至つて身持良しからざる者、近邊にても此の夫婦は爪彈きをして居りまする位、此の事を取調べた上係り役人は立歸つて周防守に復命に及びました乃で周防守が女房おなかを呼出して取調べたる處、飽迄も徳之助が賊に入つて庄右衛門を殺したものと申し立てますから周防守も徳之助の申し立ては事實であるとは思召したが何んにしろ確とした證據の無きことゝ云ひ殊に東馬は死んで死人に口無し如何したものかと御心痛遊ばされました、此の事を聞かれたのが松平長七郎周防守に對つて 長『此の調を長七郎がいたし度思ふが何と任してはくれまいか 周『仰せではござりまするが貴下は貴き御身分の方かゝる事に立さはつては宜しうござりません 長『イヤ大事ない、予の考へもあれば何分任せ見れイ』と仰せられますから周防守も然らばと、で白洲を立て長七郎が取調べることになりました。牢内より徳之助を引出し、猶又おなかも呼出しました。

長『コレ徳之助面を上げろ 徳『ヘエ 長『其方は全く養父の仇を討たに相違ないか 徳『養父の敵吉永東馬を討ましたに相違なく、然るに證據なき故盗賊に陥りましたは洵に殘念にござります 長『其方それに僞りなくば此の箱の中に入つて手探りで左の方を撫でると白鳥が居るから其の脊を撫でろ、此の白鳥はオランダ國より禁裏へ獻上になりし鳥で善人が脊を撫ると聲を立ぬが悪人が脊を撫ると忽ち時を告る依て彼の中へ入て鳥の脊中を撫見よ』と仰せられた人々が向ふを見ると何時の間にか持つて參つた大きな箱、高さ六尺竪横五尺もあらうと云ふものでございますから ○『大層大きな箱で彼の中に鳥が入つて居るのださうで △『善悪によつては時を告ると云ひますが不思議な鳥もあつたものだ』と云つて居る徳之助は心中に悪氣は無く我心は神も知しめさん、如何なる處にても恐れる處は無いから役人に從つて其の箱の前へ來ると、箱の戸を開いて徳之助を中へ入れた、徳之助見ると中は眞暗で這つて段々進み左手の方を探ると隅に鳥が居りましたから云はれた通り鳥の脊中を二三遍撫でたが動いて居るが時は告げません、徳之助其儘這出して參つた故役人は元の處へ伴れて參る、長七郎是を御覧になつて 長『コレ〳〵彼の女を入ろ 役『畏りました、さア其方入れ』 なか『妾も入りますので』 役『然だ』とおなかの手を取て箱の前へ引立て參り戸を開いて中へ入る。おなかは心中に悪だのは、悪人が撫でると時を告るといふから是は撫でられない、其の實妾と庄右衛門さんは不義をした上夫を毒害して東馬と夫婦になつたのであるから若し鳥の脊を撫でたら時を告るであらう、さすれば悪事露見の因是は一層撫でた振をして出るに若ずと思つたから、おなかは中に入つて暫く様子を窺つて居たが其儘に出て參ります、役人は是を見て 役『何うした撫でたか なか『ハイ、脊を撫で參りました 役『左様か、さア此方へ參れ』と元の處へ引据ゑる、長七郎は此時 長『コリヤ徳之助其方は撫でたか、撫でたなら手を出して見せろ』と仰せられた。

△『善悪によ



登録商標 MARUKAN
宮内省御用達 最上清酢
品質及醸造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油醸造株式会社京城出張所
電話二四五番

チヂミ メリヤス 夏シャツ クレープ
(イ) 鈴木支店
京城本町一　電一八七二番

尋ね人 色黒き三八の女廿三日夕方家出行衛不明心當りの御一報乞ふ 本町四丁目三〇 園田

七月廿六日 木 舊六月八日 己巳 本命七赤 西 開 先勝

▲一白 ▲二黒 ▲三碧 ▲四緑 ▲五黄 ▲六白 ▲七赤 ▲八白 ▲九紫 [illegible]

演藝案内

壽座 京城壽町 電話七五八番
七月二十一日より七日間毎日午後五時開演 東京新劇座女優山村都紀子一行 大阪朝日新聞連載小説 [illegible] 入場料 特等一圓 一等 [illegible]

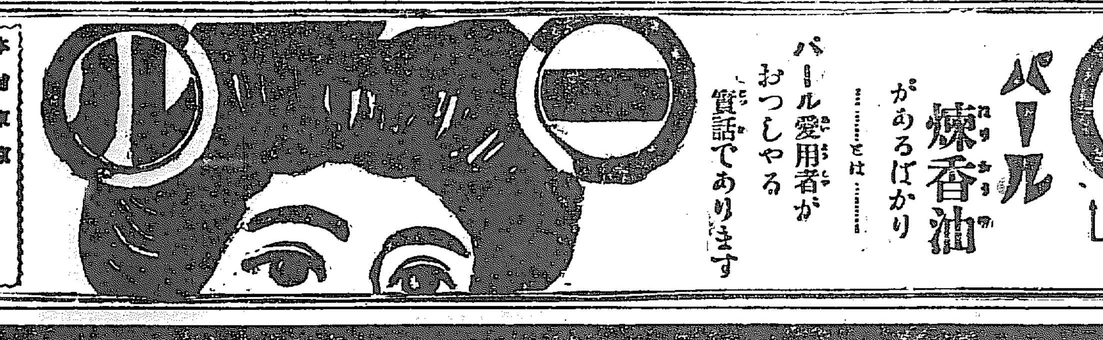
大正館 櫻井町 電話八七三
七月廿日より納涼特別興行 ▲チャプリン大會番組 [illegible]
滑稽活劇 チャプリンのパン屋 滑稽活劇 チャプリンの拳鬪 冒險喜劇 チャプリンの怪潜艇 [illegible]
〇舊劇 二代目兒雷也 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
有名なる新講談 伊藤痴遊師來る 當る七月二十四日より ▲演題 ▲秀吉の出世譚 ▲旭安南昇 ▲星亨除名の議會 ▲櫻田事件と安藤對馬守 ▲豪快天下の糸平（長講三席） 痴遊師講演 入場料 一等金九十錢 二等金七十錢 三等金四十錢

黄金館 電話 二六三七・六五二
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
七月廿日より中元御禮特別大興行
△新派大悲劇『涙の海』（全十八卷）
△米國ユニヴァサル會社作 △舊劇 女忠臣藏女義士傳（全三卷）[illegible]

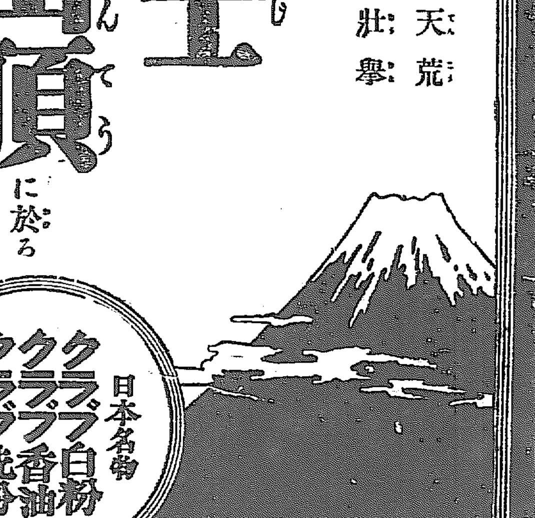
初日以來連夜滿員御禮申上候
チャップリン大會
納涼興行 番組 怪潜艇 パン屋 拳鬪 舊劇 兒雷也
日活特約 大正館

有樂館 早川演藝部直營 電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
當る七月廿二日より公開
●滑稽『西坊海濱の卷』 ○滑稽活劇『ノッポの手柄』 ●滑稽正劇『アリス孃』 ▼舊劇『聖人坂銀杏の由來』 〇新派連鎖劇 お夜の鐘 [illegible]



髪をしなやかに 丈長がく 美しく房々と 漆のやうに 黒くするは 廣い世界に しつとり しつとり
パール煉香油 があるばかり ……とは パール愛用者がおつしやる實話であります
本舗 東京 平尾銑也商店
關西代理店 大阪 平尾贊平支店

八月一日より五日迄五日間（雨天順延）
破天荒の壯擧
富士山頂に於るクラブ歯磨デー
五日間に御登山の方五千名で合計數百圓の記念品贈呈
八月一日より五日迄の内、御殿塲口、吉田口及び大宮口より御登山の方五千名迄、各登山口のクラブ歯磨本店臨時出張所に於て富士登山記念抽籤券を一枚宛差上ますから、夫を頂上の淺間神社前クラブ歯磨本店臨時出張所へ御示し下されば引換に左記の紀念品を進呈致します。



日本名物 クラブ白粉 クラブ香油 クラブ洗粉 本店主催

登山紀念品進呈
一等 金側懷中時計……一箇宛（一名）
二等 銀側懷中時計……一箇宛（三名）
三等 極上水筒……一箇宛（六名）
四等 浴衣地……一反宛（十名）
五等 クラブ歯磨一箇 クラブ白粉一箇 登山記念繪端書一組宛……（百名）
六等 クラブ歯磨一箇 登山記念繪端書一組宛……（千五百名）
等外 富士登山記念繪端書……一組宛（三千三百八十名）
外に クラブ歯磨 一箇さ富士登山記念繪端書一組宛右各等に添附 進呈

靈山の巓に立つて東海の旭日を拜す眞に天下の壯快事
クラブ本店は一昨々年來毎年富士登山隧道り角は登山道の各石室并に頂上の金明水及び銀明水にはクラブ水歯磨消毒藥并寒暖計等を備付けて登山者各位の御便宜を計れり

りん病 急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋疾をお用ひあれば全治迭なり七日分一圓十四日分一圓九十錢 本藥は他店に御賣せず直接本舗に御注文あれ
京城黄金町三 振替京城三三七番 山田文殊堂藥房

●マラリアに一番 ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の マラリヤ特効丸
定價 金十錢 三十錢 五十錢 郵税二錢 ●ニセモノアリ御注意●
本舖 龍山 (H)林藥房 京城本町一丁目
代理店 山岸天祐堂

内科、眼科 小兒科 本田醫院
京城黄金町三丁目 電話二四四三番 振替京城三三二八番
院長 本田建義

痔核。痔瘻。脱肛痔 裂痔。痔出血。直腸脱
本田醫院附屬 京城肛門療院
肛門病の話 痔疾特種注射根治療法解説書入用の方は郵券十二錢を要す

盲目に杖!! 目に藥!! 直治水!!
●スグに効ある目藥!!

特長 ○最新高貴藥を配伍す。○效験は迅速偉大なり。○黴類は嚴重に殺菌消毒す。
主効 ○外の眼藥で効なき人試みよ。○トラホーム ○やにめ ○はやりめ ○うみめ ○かすみめ ○めくさ ○其他眼病諸症に効あり。
新式点眼器付十錢、廿錢郵税二錢 全國各藥店に取次す
本舗 大阪 東京 丹平商會藥房

皮革製造販賣
牛皮 山羊皮 高價買入
京釜線大田 大田皮革株式會社
電話長一三四番 電略（タヒ）

當店礦者小野瀬七儀豫て病氣にて東京大學病院入院中之處藥石効を奏せず去る本月十日死去致候就ては來る廿五日午後五時東本願寺別院に於て葬儀相營み申候 此段生前辱知諸君に謹告申上候
妻 小野瀬ヌイ
親戚 淺松太郎
友人代 萩谷籌夫
總代 永信會

汽車發着 [illegible]

京城日報　第三版

京城日報

歐洲戰爭と交戰諸國の陸軍（四）

兵器進步の趨勢

現戰爭は一面に於て科學戰の觀を呈せり。現代の科學は殆んど極度まで現戰爭に應用されつゝあり。此一點は戰場に於ける敵味方一千五百萬の大兵と共に前古未曾有の事に屬す。而して科學の應用は兵器の上に於て最も顯著なるものあるを見る。使用兵器の進步と其編成上の變化の如きに至りては現戰爭の事前に於て世人の全く想像も及ばざりしもの甚だ多し。兵器の進步は取りも直さず其精鋭を意味し、其威力の增大を意味す。其結果は激戰を頻繁にし、損傷を多大ならしめ、敵味方相競て一層優越し一層有効なる新兵器の發明に苦心するに至るは亦當然の道行といふ可し。蓋し築城法に於て科學的進步を示せば之を破壞せんが爲めに、兵器に強大なる機械力を應用し、又各國兵器の精鋭に因る損傷多大にして其兵員補充の困難を感ずれば、更に敵の損傷を大ならしめ同時に自軍の損傷を減せんとする工夫を重ぬるに外ならず。如此極まる處なき兵器競爭の結果は又た一面に於て戰鬪の經過をして著しく科學的ならしめ、數理的ならしめ、之を往年の戰爭に比して甚しく複雜ならしめたり。

之を步兵に就いて見るに、開戰前各國を通じ步兵の兵器は威力略相似たる小銃機關銃のみなりしに實戰の經驗は步兵にも其編制中に輕機關銃、小口徑砲、迫擊砲を加へ又た多數の手榴彈、銃榴彈を携行せしむるに至れり。機關銃は從來も之を有したり、然れども實戰の結果各國共に其效力の著大なるを感じ開戰前一般に一大隊に二銃の比なりしを現在に於ては五銃乃至八銃に增加し最も多きは二十四銃を具備したるあり。小口徑砲及び迫擊砲も全然步兵と行動を共にし得るの構造を有し、又近接に於て手榴彈、銃榴彈を盛に使用し短劍、棍棒を携ふるものあり。步兵の武裝のみに於て既に此複雜を加へたり、更に砲兵を見るに各國中開戰前に於て秘密裡に統一せる新式重砲の多數を準備せるものありて開戰當初に於ける交戰諸國の重砲は威力及び數に於て多大の差異ありたり。然るに一度砲火を交ふるや統一せられたる優勢なる砲兵は敵に多大の損害を與へ、殊に大口徑砲が東西に於ける堅固なる要塞戰に於て偉大なる効果を示せるより諸國は砲の威力擴大元質の必要を認め、加之近來航空機と自動車との發達は大口徑大射程の火砲をして容易に戰鬪に參加せしめ得るに至れるを以て列國は益々火砲の口徑、射程の增進を企畫せり。此間に於て諸國は別に自動車牽引砲及列車砲を採用し航空射擊砲も新兵器として實戰に使用するに至れり。尙ほ此外に新兵器の出現甚だ少からず。毒瓦斯は其一なり。毒瓦斯とは鹽素臭素沃度及び其化合物の如き毒性瓦斯を使用し敵を悶殺、窒息せしめ或は眼を刺激するに使用す。火焰放射器は其二なり。即ち揮發油を蒸氣となし之に點火し敵に注ぎて燒殺するものなり。航空機投下用爆彈は其三なり。此中に燒夷彈と稱する一種あり、燒夷劑を投下し燒夷の功を奏するにあり。裝甲自動車は其四なり。自動車に裝甲し小口徑火砲又は機關銃を裝備し近迫戰に專用す。以上の如きは全然新兵器に屬す。若し其れ舊兵器に改良を加へたるものゝ如きに至りては枚擧に遑あらざる所と爲す。而して此等の新兵器は敵の之を知らざる程其效力大なり。故に同じくタンクと稱し、毒瓦斯といふも諸國皆獨特の長所を有するは言を俟たず。殊に現戰爭に於て注目すべき一事は兵器に對する見解の變化にあり。兵器は精鋭を尙び威力の大なるを歡迎するは當然なれども、例へば小銃の如き日露戰爭當時の見解は要するに敵兵の戰鬪力を殺ぐを以て第一の目的と爲し、敵兵の個々に對して慘酷なる傷害を與ふる事を避くるを以て人道に合へりと爲せり。然るに現戰爭の如く戰期長きに亙る時は傷害輕微なれば一度負傷したる者も快復して再び戰爭に參加するに至り、益々戰期をして延長せしめ戰局をして擴大せしむる原因となるを以て、現下に於ては威力をして出來得る限り猛烈ならしめ、負傷者が再び參戰の力なく速に戰局を結ばしむるを以て寧ろ人道に合へるものと信ずるに至れり。此見解は又兵器の進步に與つて力大なり。

東京より

自由中毒

七月廿二日　記者

○露國革命以來、露人自ら稱して、自由の露西亞たりと爲すや、英米佛諸國民亦、切りに自由自主の說を以て、之を慫慂し、此度の戰役は、即ち自由の爲めの戰爭なりと稱す。然れども此種甘言美辭は、往々にして人を過り易きを忘るべからず。

○最近露國軍隊は、ガリシヤに於て攻勢を取り、政府も諸政黨も、切りに戰爭を怠るべからざることを說くが如くなれども、兵卒勞働者團體は依然として其勢力を推持し、露國政府の組織は、幾たびか變更せられて從來立憲民主黨を中心としたる內閣は、漸次、社會黨員の權勢の下に傾き、內閣員更迭これが爲めに頻々たり。抑も露國の社會黨たるや、共產主義に無政府主義を加味したるものにして、戰爭は其の、最も好まざる所なり。其非併合、非賠償を提唱して、百方平和回復を促進するに努むる、亦其故なしとせざるなり。

○且、露都の政府、自由開放を唱ふるや、忽ちにして、芬蘭は獨立を要求し、クロンスタットは、既に自由獨立を宣言し、最近に及びて、小露西亞亦獨立自治を主張す、是より先き、露西亞皇帝、既に波蘭人及びアルメニア人に、獨立自治を許すことを、約束せるあり。是等諸民族は、到底其盟約上の權利を、放棄することなかるべくして、此勢もて進まば露西亞は自由中毒の爲めに、自ら瓦解せざるべからず。

○又、革命運動者、社會主義者等、切りに農民に土地を分配すべきことを說くや、簡樸なる露國農民は、大に之を喜び、直ちに之を實施せざるべからずと爲し、法律の制定、官府の命令をも待たずして貴族大地主の所有地、若くは官公有地に就て、其分け前を求め、其爭奪に是れ急なり。甚だしきは、戰線に在る所の兵士にして、土地分配の爲めに鄕土に歸還し、復た其役に就かざるものすら之れ有り。爾來、農民土地分配熱に是れ狂して、耕作を忘れ、溫暖季に入るも、其の業に就かざるもの多しと云ふに至りては、言語同斷といふの外なし。最近、露國を視察せるものゝ言に依れば、今年はこれが爲めに、作付反別著しく減ずべく、其耕作業も、極めて粗放なるべくして、或はこれが爲めに、今年の農產物に、大減收を見ることなきを保せずと云ふ若し、此事にして眞ならしめば、是露國民に取りては由々しき大事なり。

○願ふに、自由論と云ひ、非併合說と云ふ、皆是れ、露國革命以後の流行思潮に外ならずして、露國革命亦之を提唱し、世間露人の歡を買はむと欲するもの、相率ゐて之に和し、以て其勢を大にす。然れども、是は獨り、露國民自身を過るの虞あるのみならず、之に和するもの亦、自ら危ふきことなき能はず。現に米國人中に、英國政府は、速かに其愛蘭問題を斷決すべし、米國は此に加勢するに躊躇せずと呼號するものあるや、英國人其心に平かなる能はずして、今更の如く、英國內の事は、英國民自ら之を處理すべく、他國民の容喙を許さずなど、論爭しつゝあり。流行的思潮の、往々にして人を苦しむることある概ね此類ならざるなし。

誰（22）

布施生譯

『あゝ疲れた、今迄保部の小僧の背前と玉突をやつてゐた』『何、御機嫌取に勝してやるので却て骨が折るのさ、實は昨日馴染になつた許りだが今日は最早一番懇意になりすました、阿守の代りにあの銀行へ僕を入れてくれと云へば彼奴は乾度口添をしてくれるよ』『へゑ、阿守の代り？、貴君が、あんな小使の？』『なあに、あの家の內情を少し調ておきたいと思ふものだからね。』『小僧からは探れないの』『如才なく龍つてみてやつたが駄目だつた、小僧奴何にも役に立つ事は知つちやあ居やがらない、主人の保部と云ふ男も中々奧の深い男らしいて、話に據ると酒も煙草も飲まない堅造で、召使にだつて一つも尻尾は摑まれてゐないらしいや、金持の癖に質素な生活をして女房孝行の上子煩惱だそうだ、餘程よく出來たお目出たい男さね。』『何、奧樣といふのはお若いの』『何、五十前後だとさ。』『それで其外の御家族は。』『男の子が二人あつて、一人は兵隊に往てゐる、長男の方は家に居るが此奴も矢張り堅人だそうだ。』『例の姪御樣といふのは。』『さあ姪の事は小僧め蹈張り知りやがらない。』『それぢや仕方がないわ。』と婆樣少し變な顏をしたが一寸阪の面を見て

『だからさ、貴方ぢや駄目よ、貴君、何故鍔骨樣に御相談しないの。』『鍔骨樣？、うむそれも考へないぢやないが、實は今度は一系己の技倆を見せてやりたいものだから、時に奧樣は如何したい。』奧樣と云ふのは美那子の事である。美那子が此處へ來てから阪はいつも其眼に觸れないやうに上手に隱れてゐるので、美那子はまだ一度も彼と顏を合はせた事は無い勿論此處が彼の家だとは知る由もないのである。美那子は此處では又庄司晴美と云ふ名を名乘つてゐた。『奧樣は一寸…』何だか大分御機嫌を損ねてゐる、臨寢局で何を聞はれたのか、蹈つてきた時は恐ろしく憤々してゐた、そして大急ぎで手紙を書いて即刻に出してほしいと云ふ注文だつたが、そこは私の事さ、貴君に見せてからと思つて竊と藏つておいた。』言ひながら机の抽斗から手紙を出してきて阪に渡した、阪は受取つてみると、手蹟も割合に上手に『ループル館にて藏部利介樣方八島賴太郎樣へ御前近下され度願上候』と書いてある。阪は封を切つて見ると、

『[illegible]』お知らせ申上候へ共貴君樣よりは何の御返事も御座なく、貴君樣迄がお見捨て下されず候はゞ誠に[illegible]、若し此手紙差上候て猶御返事下されず候はゞ私は最早や例のお約束は守り申すまじく、就ては遠慮なく私が先日貴君樣と藏部樣とのお話を漏聞き候次第を鈴宵樣までお知らせ申上ぐべく候、貴君樣はまさかこれ程不人情には在せられずと存じ候、何とぞ何とぞ明後日正午より四時までの間に大佛殿へお越し下され度委しくは其節御目もじの上御話し申上度候呉々も御用の程御待ち申上候。美那より　八島賴太郎樣。』

『おやおや〜そんな手紙は一向見たかつたが。』『そりや奧樣が自分で投函たのでしやう。』『左樣だらうな。』

□日報 俳句會句錄（二）

席題『蟬』

作者五十一名。互選結果。（十二點）青丘（十一點）桂花、黃丘（十點）草綠、紫川子、鳥堂（九點）靡浦、容堂（八點）浮碧樓（七點）不足、淸一郎、山水、友春（六點）春樹、樞村、句平、玉遊（五點）樹霄（四點）澄資子、北星、田打火、帝史、光一、桂文、靜軒（三點以下略）

（五點の句）

曉の子の胸高帶や蟬が鳴く　青丘

（四點の句）

樹影濃く地に染みて蟬の聲深し　草綠

蟬に尻高に讀む兒送休宿題を　靡浦

絲にくゞまる蟬日向に重なり飛べり　黃丘

蟬なく先生養生の日踏み　鳥堂

（三點の句）

山路行かば蟻集ふ蟬の骸かな　友春

日曜の朝よりの蟬時雨　不足

尋ねあぐみしが蟬の下に標札　山水

人淋し蟬鳴く麓驢馬を驅る　桂花

蟬無心僧無心參禪堂の異蟄　樞村

夕蟬や庭掃く下女の知らせて　浮碧樓

夕蟬に親犬の來る畠かな　容堂

墓井戸の釣瓶たぐるに蟬一樹　桐青

廟の庭に黃楊噬せり蟬の聲　春樹

良い考へ出無い蟬の睡る　黃丘

蟲齒注射に汗拭ひ一と間蟬の聲　桂花

新聞を顔に落して蟬に眠れり　蓮水

（二點以下略）

壹百年間世界的努力の結晶

工學博士 西田博太郎　藥學博士 慶松勝左衛門　先生共編

實驗 化學工業

シーザー那破翁が優越の象徴たりし時代は過ぎ去つて今や化學工業の一語が世界に於ける經濟的征服のシムボルたるの時代は來りたり!!大正日本の歷史は此の使命は化學工業の新武器を以て世界市場の征服を全ふするの一事に在り。國民的新要求に應じて生れたる本書が全國化學工業界の狂熱的歡迎の中心となり特價提供の五千部は近く賣切れむとするの盛況は決して偶然に非ざる也今や全國の名士と工業家は擧つて本書の愛讀家たり本書の眞價知る可き也

五千部限　全三冊　（一時拂込）特價金拾五圓　定價貳拾圓　（月賦拂込）金拾八圓（六、七、八の三月間金六圓宛拂込の事）

裝釘堅固○春革平クロース角革○天金附金文字入○本文六號活字三段組○總紙數三千二百頁○印刷鮮明

郵送料（一冊）內地金二十錢　朝鮮滿洲臺灣金四十錢（市內無料配達）

第一卷製本既成　第二卷　第三卷（近刊）

（內容見本は御申越次第進送す）

◆主要なる御申込者◆

朝鮮銀行調査局殿　朝鮮鐵道局殿　總督府官房總務課殿　中央試驗所殿　元山金鑛々業所殿　元山皮革會社馬場殿　遞信局通信課殿　京城中學校殿　龍山間組殿　セブランス醫學校殿　蛇目鑛業所殿　鹿島組出張所殿　麻浦醸造試驗所殿　京畿道廳殿　京城高等工業專門學校殿　善隣商業學校殿　小林鑛業本部殿　京城工友倶樂部殿

京城總督府醫院殿　古川鑛業所殿　西大門監獄殿　淑明女子高等學校殿　中央試驗所應用化學室殿　新井藥店殿　京畿道醫務部殿　京城醫學專門學校殿　合名會社鈴木商店殿　東洋拓殖株式會社殿　吉野商會殿　京城志岐組殿　京城監獄殿　[illegible]殿　古賀喜吉殿　川端三次郎殿　山岸天佑堂殿

[illegible]殿　東亞煙草製造所殿　朝鮮鐵道太田殿　馬場仙太郎殿　朝鮮銀行出石殿　龍山衛戍病院大谷殿　同村殿　京城郵便局時計木村殿　中西覺二殿　今村上藤店殿　中央試驗所祐良殿　岸原分田殿　永登浦吉殿　石田津右衛門殿　南滿鐵道會社監門殿　同瓦房店圖書館殿　同營口圖書館殿　同大石橋圖書館殿

同撫順圖書館殿　同遼陽圖書館殿　同奉天圖書館殿　同鐵嶺圖書館殿　同開原圖書館殿　同四平街圖書館殿　同公主嶺圖書館殿　同長春圖書館殿　同本溪湖圖書館殿　同安東圖書館殿　同沙河口圖書館殿　電氣遊園圖書館殿　大連近江町圖書館殿　同北公園圖書館殿　滿鐵埠頭事務所殿　南滿洲工業學校殿　大連商業學校殿　三井物產大連支店殿

株式會社三泰油房殿　株式會社日清油房殿　鈴木油房殿　小寺油房殿　福昌公司殿　大連油脂工業株式會社殿　齋藤油房殿　古河合名會社大連出張所殿　大連海關圖書館殿　復本組殿　富洋行早川殿　九鬼榮助殿　三井物產大連雜貨部倉助殿　同大阪本修治殿　同小平之助殿　同足立佐々江殿　同鐵嶺主任（以下次回）殿

發兌　東京日本橋區本石町四丁目十一（振替口座東京一七五九三三番）化學工業發行所　滿鮮一手特約　京城本町一丁目（振替口座京城三一七二番・電話四八六番）大阪屋號

一ヶ年で卒業出來る

實業講習錄

▲總裁 大隈侯爵　▲副總裁 澁澤男爵

何事にも躊躇する者は折角の好運を失ふ者なり速に見本を見られよ

世界は益々富力の競爭となり實業の天下となる志ある者は實業に來れ本會に來れ

一にも實業二にも實業三にも實業!!

大附錄 書翰文習字

世の中に出て最も必要なる學問を最も分り易く且つ面白く說明せるは世間で日々使はれつゝある手紙の書き方讀み方等に至るまで一々手本をつけて習ひつゝ實際の役に立つやうに致ゆ

見本無代進呈

▼見本は御申込次第送ります▼見本は會則及び內容を示す▼只今入會者には大特典あり

自宅獨習科目：▲商業簿記 ▲銀行簿記 ▲商業要項 ▲商業作文 ▲實業習字 ▲珠算暗算 ▲商業地理 ▲商品學 ▲經濟講話 ▲實業讀本 ▲商業英語 ▲商業數學 ▲實業史 ▲商業實務 ▲民法 ▲科外講話

會費：一ヶ月分五十錢　二ヶ月分一圓　三ヶ月分一圓四十五錢　六ヶ月分二圓八十錢　一ヶ年分五圓五十錢

東京市京橋區南紺屋町二十二番地　實業之日本社　帝國實業講習會　振替口座四〇一一六・電話京橋九八九

大正六年七月二十五日（水曜日）　京城日報　（明治四十二年九月十八日第三種郵便物認可）　第三千五百四十一號

在支獨人宣戰案妨害
軍費供給契約＝卅萬圓を提供す

在支九名の獨逸人は張、勳氏を說いて支那を紛亂狀態に陷らしめんとせしも終に失敗に歸したるより更に南北民黨を買收て段內閣の對獨宣戰案を妨害すべく計畫し差當り其の最も缺乏せる軍費を供給することゝして之れが契約成り既に三十萬圓を提供せりと（北京特電）

段內閣獨立宣言憂慮

段內閣は程璧光氏の第一艦隊獨立宣言に接し表面平靜を裝ひ討伐を唱へ居れるも事實は蔭憂愛慮しつゝあり（北京特電）

馮國璋北上遲延理由

總統府官吏は馮國璋氏出迎への爲め南行せるが馮氏の出發遲延は江蘇省北部に張勳氏の兵變亂を起したるに因るものゝ如く馮氏は漢口を經由するやも知れずと（北京特電）

露陸相の對敵訓令

臨時政府は露都に於ける叛亂軍隊全部の解隊を命じたり陸將ケレンスキー氏は鐵援を鍛鍊すべき旨の無線電信をネバル、ヘルシングフォルス其他諸港に發し且つ全露國々民主義の下に結合して敵に當るは露國民の義務たる旨を訓令せり（露都電報）

暹羅宣戰を布告す

二十二日暹羅國政府は獨墺兩國に對し宣戰を布告し沿岸經由中の獨墺汽船九隻（合計噸數一萬九千噸）を差押へたり（盤谷電報）

獨飛機英國を襲ふ

二十一日の獨逸飛行機はノウイッツに襲來し三十六名の死傷者を出したるが我が射擊に遭ひ退却せり（倫敦電報）

コ將軍總司令官任命

露國コロニロフ將軍はゴートル將軍の後任として西南部戰線の總司令官に任命されたり（露都電報）

拓殖局次官 秋山氏に內定

新設拓殖局長官に白仁武氏就任內定の事は既報の如くなるが次官には朝鮮總督府參事官秋山雅之介氏就任のことに內定せり（東京特電）

粘蟖虫の新驅除法（承前）

陸軍三等藥劑正　村田庚太郎氏講演

余は前記 CS_2 十瓩水百瓩の割に溶解し之を松粘蟖の甲冑たるべき虫毛內に輙く進入すべき爲め粘滑藥を加へ倚 CS_2 の効力を充分ならしむる爲め木材乾餾產物の少許を植物性揮發油の少許を加へたる藥液を創製せり本品は淡褐色油狀の液にして貯藏中二液層に分離す使用時充分に振盪する時は淡黃色半流動體となる之を水を以て百倍に稀薄し噴霧器より樹上枝也に充分に發霧せしむ此際使用する噴霧器は强壓なるものを要す之れ松粘蟖の甲冑下に充分侵入せしむるを要するを以てなり頑强なる松粘蟖も一度本液に觸るゝ時は立ち所に變色し直ちに死滅するか二三秒乃至七八秒にして死滅し或は一二分の後死滅す上述の如く發育時期に於て

▲其効力に差等 あり越年後卽ち二三月の頃より四五月の頃に於ける幼蟲若くは脫皮の際最有效なり其の充分老熟したるものは漸に蛹化せんとする時卽ち六月乃至七月は蟲體最も頑强にして撲滅容易ならず八月中旬以降孵化時使用すれば最有効なり又十月以降隱所を求め越年するとき松樹の幹及び其附近の蘚苔等潛伏所に使用するときは其効果特に著し本品は樹枝葉等に永く殘留し害虫の毒物たる硫化水素及び硫化炭素を發生するを以て一度之を使用する時は永く粘蟖の來襲を免ることを得松粘蟖は其箇性により頗る强健なるものあり否らざるものあり其强健なるものは

▲死滅も亦困難 なり故に本品を使用するに往々永く蠢動するものあり之れ其箇性の頗る頑强なるによる此の如き場合は再び本液を使用するか或は藥液の稍濃厚なるもの例へば七十倍乃至五十倍のものを使用すれば可なり頑强なる松粘蟖已に然り自餘幾千萬種の害蟲も使用法宜しきに適ひ使用時其の時を得れば容易に驅除の目的を達することを得余は多種の蚜蟲、綿蟲、介殼蟲、螟虫等に使用したれども充分其目的を達することを得たり然れども余は主として松粘蟖に向て其根絕を目的とした るを以て自餘の害蟲に對する研究は之を省略せんとす終りに本品の

▲植物に對する作用に就て は實驗中詳細なる觀察を遂げたるに十數回の試驗に於て何等有害の作用を發見する事なし價格も亦低廉にして一般販賣品たる害蟲驅除藥に比し等差なし之を除蟲菊に比する時は大略五分一以下を以て足れりとす（完）

滿洲行政改革案に就て
世說の一斑を紹介す＝大連通信員

滿洲の所謂三頭政治なるものは滿鐵道併業と共に今回樞密院を通過したる滿洲行政改革案卽ち關東都督府官制の改正によりて始めて統一せらるゝ事となりたるが其の骨子とする處は（一）從來外務省の監督を享けたる都督府が他の植民官廳と等しく內閣直屬となりし事（二）都督府の權限を擴張し從來滿鐵の業務を監督せし都督は之を統裁する事となりたる事（三）滿鐵の正副總裁は之を廢止し理事長を新設する事となりし事（四）滿洲駐剳領事を特別任用となしたる事（五）滿洲に憲兵制度を實施することゝなりし事等なるが

▲現都督中村男 が此の行政改革の實施と共に關東州を去るべきは既定の事實にして男は現に歸旅の準備を爲しつゝあり而して中村男に代り何人が都督の任に當るべき乎は世說區々にして猶ほ不明なるも本鄕中將の呼聲高きに拘らず當地方にては現滿鐵總裁中村雄次郎男が滿鐵を去りて都督の地位に昇るべしと信ずるもの多し男は豫備軍人なれば官制上都督に就任し難きも甘邊の融通は如何樣にも付け得るの途あるべく殊に寺內首相と中村男との關係より看るも男の都督就任は疑ひなしと一般に認められ居れり滿鐵に於ても斯く信じ居るものゝ如く隨つて滿鐵社員の態度は極めて靜平なり

▲滿鐵理事長 の何人なる乎は是亦た明かならざるも正副總裁の廢止せらるゝ以上現總裁中村男の滿鐵を去るべきは當然の成行なると共に現副總裁國澤氏が其の新設理事長の任に就くべしとは昨今の世說にして當地に於ても斯く信ずるもの多く恐らく事實となるべきか內には滿鮮鐵道併業の結果從來の朝鮮鐵道局員を全部滿鐵社員となすの關係上大屋權平氏にして滿鐵に入るとせば普通の理事としては甘んせざるべく同氏或は理事長たるに非ざる乎との說もあれども當地多數のものは國澤氏の理事長說に信を措き居れり

▲領事の特別任用 に關しては格別の說なしも都督府が內閣直屬となり都督が滿鐵の事業を統裁すると共に上外務省直屬の領事に特別任用の途を開き都督府事務官をして領事の職務を代行せしむるは當然の結果なるのみならず斯くせざれば所謂三頭政治なるものゝ統一を期し難きを以て斯くあるべきが至當の順序なりと皆一般に認め居れり唯だ現任の在滿各領事が其儘都督府事務官となりて依然領事の職務を行ふことゝなるか或は更迭あるかは疑問の存する所なれど多少の更迭は到底免かれざるべく一說によれば都督府勅任事務官たる某氏は此の領事特別任用制の實施と共に奉天に出でゝ專ら外交事務に當るべしと云へるが果して然るや否やは猶ほ明白ならず

▲白仁民政長官 の進退如何は此際最も當地方人士の注意し居る所にして若し中村滿鐵總裁が關東都督に就任する事とならば白仁氏は從來の關係上引續き現地位に甘んずる樣のことなかるべく殊に同氏の民政長官たる既に相當の年所を經たれば新任都督の如何に依り白仁氏は竟に滿洲を去るべしと揣摩するもの尠なからず若し去る場合に何人が果して民政長官たるべき乎は興味ある一問題なるが之れに對しては現大連民政署長大內丑之助氏の昇任を見べしとの說と大屋權平氏來つて其任に就くべしとの說あれど要するに何れも巷間の取沙汰たるに過ぎず

▲憲兵制度の實施 に就ては當地方の一部人士間に苦情を唱へ若くば非難の聲を放つものあり其の苦情又は非難の由つて來る所は朝鮮の憲兵制度が甚しく在鮮內地人の自由を拘束し之をして消極的に陷らしめたりとの觀察と今後も主として經濟的平和的に步を進むべき滿蒙經營に軍國主義的色彩を鮮明にするは好ましからずとの所見に存するものゝ如く之と共に憲兵制度の實施に恐怖心を懷ける者も多くその恐怖心より異論も起れるものと認めらる

以上は滿洲行政改革案に對する當地方に於ける昨今の世說を紹介したるに過ぎざるが內には滿鐵本位に立脚し今回の改革を以て結局徒爾に歸すべしと評する者もあり官僚的經營は朝鮮と異なれる滿洲には不向なりとの論もあり若夫れ支那人側に至りては東三省時報などが漫評を試むる位にて格別の說なし（廿二日發）

京畿夏蠶豫想

京畿道に於ける夏蠶狀況を聞くに本年の蠶種掃立枚數三千九枚にして六月二十八日頃より七月十三日迄に全部掃立を了したるが掃立以來氣溫上昇し時に甚だしき蒸熱を釀す等氣候適順ならざりしにも拘はらず蠶兒の發育概ね良好にして桑葉は伸長殊に頗る佳良なるを以て本年の夏蠶は今後著しき變化無き限り成蹟良好なるべく收繭豫想高は七百五十石にして前年實收高五百七十六石に比較するときは百七十四石卽ち三割二厘の增加に當れり

道廳は羅南に移っても
鏡城は營農地として立って行く
三田咸北第一部長談

不知火旅館に三田咸鏡北道第一部長を訪ふ曰く『咸鏡北道では、各郡各面各里に對して農作物の優良種を選擇し且つ是丈けのものを是非とも植付ろといふ主意で行り出したが案外其の成績は好良である。之は五ケ年計畫で昨年大正五年度から始めたのであるが、尤も昨年は初年度の事ではあるし其の成績も際立つて擧つたとは云ふ程ではなかつたが、本年度以降此の分で行けば

▲大に前途有望 である。是は獨り種子の撰擇のみならず、施肥の監督、害蟲の驅除、水田其他の灌漑等に就ても努めて指導奬勵してゐる次第である。鐵道は既に咸南の元山から替坪まで三十一哩開通してゐるが、替坪より會寧へ行く線は本年一杯に開通する豫定である』と云つて、記者が『鏡城にある道廳を羅南に移したら、定めし羅南が淋るゝならん』と問へば『左樣、隨分鏡城の人々は

▲悲觀してゐる 樣だが、中には鏡城の繁榮は決して道廳の有無に關せずと敎圍いてゐる者も尠くない、其の人達の言に據れば、羅南に道廳の移るのは大正八年十二月であつて、無論警務部や憲兵隊、警察署、慈惠醫院等は道廳と共に羅南へ行くだらうが、羅南は地域小にして農耕地としては適しない、土質其他農事に於て優秀の地位を占むるは鏡城であるから、多數の鮮人農民が家を擧げて遽かに羅南へ引越すといふが如き事は萬あるまいと思ふ、殊に鏡城には例令道廳が無くなつても

▲土地の關係上 稻苗揚とか農學校の如きものが存置せらるゝ事であれば、恰度京畿道廳を京城に持て行かれた水原の如く、差したる違ひはなからうと思ふ。殊に鏡城より一里の生氣嶺には盛んに石炭、陶土を產し、殊にコゝの陶土の如きは日本國中にも類の無い程、良質な土であるといへば、世人の憂慮するが如きことは無いと見て差支へないと樂觀してゐる者もある。若し夫れ樂觀する者の言の如くんば、鏡城は羅南への物資供給地となり、却て堅實な發展を遂げるかも知れない。』

鮮鐵荷動狀況

七月上旬に於ける朝鮮鐵道荷動狀況を聞くに發送噸數五萬二千二百五十六噸收入十五萬二千二百九十一圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て一萬二千六百五十九噸（三割三分）收入四萬六千百八十二圓（四割四分）の增加にして本旬中出荷の主なるものは

石炭八千九百六噸を第一とし木材七千百三十九噸米四千七十八噸雜穀一千八百二十九噸鑛石千六百九十五噸大豆千四百三十四噸豆粕千三百七十二噸鹽干魚千四噸煉瓦五百二十三噸鹽四百五十七噸黑鉛四百四十四噸肥料四百三十四噸木炭三百六十六噸石粉三百噸等にして前年同期に比し米、石材等一二貨物の減少を見たる外孰れも進境を示したり主要貨物の出荷槪況左の如し

▲石炭● 前旬に於て平壤鑛業所の作業休止等の爲め荷動振はざりしも本旬に入り兩者共荷動順調に復し總數八千九百六噸を算し前年に比し三千二百八十九噸を增加せり依然平壤最も多く撫順炭之に亞ぎ新安州炭三千五十八噸の出荷ありたり

▲木材● 需要期節とて一般需要多く殊に軍用材は出荷頗る旺盛にして新安州發最も多く安東、白馬之に亞ぐ

▲米● 價は依然强氣配なるも產地品薄を告げたると一般農家金融緩漫にて先高見越の買惜みの姿なれば小口取引は閑散なるも露國軍需品として前旬に比し七百噸の減少を示せるは前年同期は水害後にて各地の停滯米が一時に發送されしに因る現象なりとす

▲雜穀● 前旬に引續き依然出荷不振なるも前年に比すれば猶千四百十四噸の激增に當れり品種は粟最も多く小麥、大麥、小豆、蕎麥等なり

▲鑛石● 本品の出荷數は毎旬大差なく平壤、中和、土城、新川、宜川等發鐵鑛南浦久原製錬所行金銀鑛石多數を占む

▲大豆● 前期なれば出荷捗々しからず前旬に引續き不況を呈せり出荷總數中內地移出千百六十三噸を含む

▲豆粕● 需要最盛期を過ぎたる本品の出荷は漸次減退し前旬に比し千百六十九噸を減少す

▲鹽干魚● 元山發鱈鰊の出荷衰へたる爲め前旬に比し四百六十九噸を減少し總數千四噸に過ぎず

▲鹽● 梅雨季に入り各產地に於ける製鹽捗々しからず加之元山行製鹽用鹽の需要減退に依り荷動頓に衰へ前旬に比し千五百九十四噸の激減を示せり

六年度市街地稅

京畿道管內京城、仁川、水原、開城等に於ける大正六年度市街地稅徵收狀況を聞くに稅額十萬五十九圓に對して納期內徵收は人員一萬七千二百九人稅額五萬四千二百二十四圓納期經過後一箇月徵收は人員一萬四百人にて稅額四萬四百七十四圓なりと前年同期の徵收實績に徵すれば人員の步合三分六厘三毛に對し本期の五分七厘六毛稅額に就ては前年同期の二分六厘九毛に對し五分四厘一毛を示せりと

鮮鐵中旬營業成績

七月中旬鮮鐵營業收入は客車收入十三萬五千七百四十一圓貨車收入十四萬六千八百三十圓合計二十八萬二千六百七十一圓にして之を前年同期に比較する時は九萬六千百七十八圓の增收なりと云ふ

鮮銀券發行高

七月十五日より二十一日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は四千百二十五萬六百六十六圓なり

人事

▲村地元山府尹　二十四日夜入京旅尾へ
▲松下榮氏（大正水利組合技師長）　同不知火へ
▲佐野榮三郎氏（大阪商船社員）▲若林辰太郎氏
▲同安倉三次氏（同）同夜退京
▲古川賢治氏（古川合名社長）　同上

南言北語

▲獨逸の革命は露國の革命後直ぐにも起り相に思はれたが▲豚の睾丸のやうに落ち相で却々落ちないのはホーヘンツオルレン家だ▲一體獨逸の皇室と人民との關係は露國などとは大分趣を異にして居る▲唯社會民主黨だけが絕ず皇室に對して反抗的態度を取つて來たが▲其の少數急進分子を除いたら今度の戰爭を支持して居る議會でも▲絕對多數を占めて居ないから革命を起すやうな勢力は無いだらう▲併し勝利の絕望空想の破壞が來たら貴族及び中等階級や兵士が一團になつて▲皇室を呪ひ初めて其處で愈々革命が勃發する事になるのだらう▲何に其時を聞きたい▲マア九月の下旬からだらうナア▲獨逸の潛航艇は病院船だらうが何であらうが遠慮なくドシ〳〵やつ付けるので▲英佛では潛航艇の襲擊豫防の一策として居る相な▲其れから今度は獨逸の捕虜兵を全部病院船に收容して豫防する爲に大工場の附近には新しく獨の捕虜兵收容所を設けるとか▲併し之れ位で死に者狂ひの潛航艇や飛行機が困るかなチト疑問だ▲が却々考へたものだテ▲此頃登山が大分流行して居らしい▲其處で閑人が世界で一番高い山を調べて見るとニューギニア島のヘラクレス山で三萬二千七百八十六呎▲アルプス連峰の最高峯ブランは八十二番目で一萬五千八百十呎▲我國の新高山が百二十四番で一萬三千二十呎▲富士山などはずつと下で百三十五番に當る▲朝鮮で一番高い山は何處だらう

中旬氣象概況

本旬中前氣壓は本邦太平洋岸方面にありて氣壓配布の狀態は殆んど一定の狀勢を[illegible]來引續き渤海灣附近に發生せる小低氣壓の爲め北部地方に屢々降雨を催したるを以て同地方は今春來本旬[illegible]り然れども南部は之れに反し一般の降雨少なく概ね僅に四耗以下の微量に過ぎずして[illegible]年に比すれば著るしく寡量なり[illegible]溫は前旬來引續き[illegible]に南部は旱天を持續したるを以て氣溫著るしく上昇し概ね二十七度弱に上れり又日々の最高氣溫も中部以南の[illegible]

龍岩浦	[illegible]	七	二三、四	二七、九
平壤	九、八	二	二四、七	三一、二
京城	八、七	四	二六、四	三三、五
仁川	六、一	三	二五、二	三〇、七
木浦	一、八	一	二六、七	三〇、六
釜山	六、七	三	二三、〇	三〇、七

長湍郡經濟狀況

本年春季來降雨缺少の爲め麥作は成績良好ならざりしと雖も平年作に比し約二割の減收に止まり大なる影響なかりし[illegible]

四圓下廟五十七圓平均値七十二圓の未曾有の高價を示せり右共同販賣の外個人販賣亦約百四五十石に達し上廟七十五圓[illegible]此の個人販賣なりしたる[illegible]の趣旨を克く分得したりと認む

▲稻秧期に於て降雨なく農民は均しく天の惠みを待ちし居る矢先本月十一日十二日に至り俄然降雨あり雨量七十粍に達し本郡內全部に亘り植付を了するを得たり[illegible]

値上謹告
貨物運送取扱手數料
貨物集貨及配達賃
右八月一日より値上げ實行仕候
內國通運株式會社京城支店
京城運輸合名店

料理の友
夏季料理號 滿載
人生幸福の基礎 山脇博士 ■人體に貴重な食物
現代的食物 長井博士 ■食養法の眞髓 佐伯博士
有効な銷夏法 松浦政泰 ■夏季料理秘訣 赤堀峯吉
味ある家庭の晩餐 ■夏向衛生料理
京い料理會 ■ビールの肴向一品料理
以下の米飯代用品 ■避暑地向簡易料理
▲風流な家庭納涼會 ▲お格好な鷄肉料理七種 ▲上品な冷し物數種
▲美味しい南瓜料理八種 ▲茄子と胡瓜の珍料理 ▲夏向衛生菓子
▲道具なしで出來るミルクセーキとアイスクリーム ▲夏向漬物

夏秋蠶種發賣
例年の通り責任を以て發賣致候代金は一切前金の事
著金次第完全なる郵送筒に納め御送付致候
途中發生又は其他異變の場合は御取替又は御返金致候
御送金は小爲替又は振替京城二二六二番御便利に候
內地製特別蠶種 代價一枚金六十錢 九月末日迄毎日出荷
京城府漢江通四番地 東鷲社種苗部 電話龍山六四番 電略（ニト） 振替口座京城二一二六番

中元の贈答用品はスワン萬年ペンに限る
▲各地到る處の文具店に販賣せり目錄進呈す
大阪平野町二丁目 スワン大阪出張所

女學世界 八月號 定價廿三錢郵稅二錢
夏休の利用法
△婦人と讀書 △結婚難を報ずる……三宅夫人
科學者の妻として
銀杏の葉
私の經驗家事上の注意 △夏の濱名湖 △天草避暑地 △溫泉場スケッチ
黑い小鳥（童話）……鈴木三重吉
心の響（家庭小說）……北島春石
白鳥の騎士……靜浦逸人
夏の住居を涼しくする法……井上秀子
夏の自然の色彩
魚の買ひ方と料理法
惡夢から醒めた若き婦人の告白
東京本町 博文館

時計及蓄音器卸商
弊堂創立明治二十八年
京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電話一〇二五・替振京城七八二

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城日報社 京城太平通一丁目

る顯著なる低氣壓の十一日國境附近に襲來するや西岸一帶に豪雨を起し中部以北各地に多量の降雨あり
鴨綠江岩浦は本旬の量二〇〇粍を超ね平年量の倍以上に達し元山以北の東岸地方も七〇乃至一〇〇粍の量を測れど
年より二度內外の高溫を示し本旬平均は北東部地方の二度以下を示せども其他過半は二度以上にして特に
二日江陵の二四五度を最高とす今本旬中各地の氣溫雨量等を列記すれば左の如し

地名	雨量	雨天日數	平均氣溫	旬中最高氣溫
元山	一〇九	三	二三、二	三一、六
江陵	四九	五	二五、三	三四、五
大邱	一	一	二六、七	三四、一
釜山	四	二	二四、七	二九、一

▲本年の平均收穫は三斗に垂んとし四斗を超ゆるもの亦尠なからず本部養蠶組合聯合會に於て共同販賣を斡旋したる數量は八十餘石にして其の總價格六千圓に達し時節前仕入れ同販賣個人販賣に依るれたる金額は少くも約一万五千圓を下らざるべく必ずしも巨額といふには非ざるも例年金融逼迫の時季を救濟するに充分なり

釜山、海雲臺、東萊の官民諸氏は
斯の如く探涼團を歡待せん
涼しい新造客車に樂々と横臥して一睡の裡に目的地へ

本社主催の海雲臺及び東萊探涼團は愈々來る二十九日午後七時五十分南大門發列車にて日本海沿岸の涼地海雲臺に向ふ事となりたり本社が一度此の計畫を發表するや贊同の聲一齊に起り各方面よりの申込者頗る多し

廣々たる貸切客車

鐵道局にては能ふ限りの便宜を圖り特に本探涼團の爲めに新造客車を使用する事となりたり該客車は最近草梁工場に於て建造せられたるものにして單に車體の新らしきのみならず種々の點に於て從來の客車に勝れ極めて居心地よく構造せられたる上に座席は一人一個宛に占有し得るを以て車中の涼しき事は元より座席に横臥して樂々と目的地に達し得らるべく名は三等客車なれど其の質に於ては二等客車と異なる處なし

本團に對する歡迎

猶本探涼團の爲めに海雲臺、釜山、東萊等に於ける友誼的歡迎は至り盡せるものあり本日までに報知を得たる歡迎準備を擧ぐれば東萊溫泉場に於ては

◆東萊繁榮會は同會長物部安馬氏主宰と爲り探涼團員接待の準備に奔走盡力し居れり金井山瀧への道路新設は既に工事に著手し歡迎趣旨は團員の滿足を得べく期待し熱心に盡力せられつゝあり

◆東萊溫泉場の礦泉よりラヂームを採收しラヂーム飲料水を製造すべく數年來熱心に研究の結果愈よ良好の成績を得たる堤貞之氏は探涼團員諸氏に當日試飲を請ふ可く昨今準備中なり

◆東萊溫泉場の有志者は探涼團員の來遊を歡迎する爲め煙火數十本を打揚ぐ可し

◆同地名產湯煎餅及び湯の飴販賣所は何れも團員諸氏に對し大割引を爲し紹介を請ふ可く希望し居れり

海雲臺に於ては

◆同海邊に於て漁獲したる小魚を以て特に製造を爲したる細々雜魚を美麗なる小器に詰め團員諸氏のお土產用として實費を以て販賣

◆帝國麥酒會社は同海岸にビヤホールを特設して廉價を以て團員諸氏に生ビールを販賣

◆釜山吉野庵本店は海水浴場附近に出店を構へ冷素麵を調理

自動車と浴場設備

東萊海雲臺の間を運轉しつゝある

◆自動車經營者は探涼團員の海雲臺に來遊を機とし新たに一臺を增し間斷なく運轉を爲さしむること

◆海水浴場の設備は椅子其他既に組立に著手し遺憾なきを期せり

探涼團員に寄贈品

探涼團員諸氏に對し釜山より寄贈の申込み（二十三日迄の分）は次の如し

◆菊正宗醸造元本嘉納釜山倉庫部より海水浴用手拭數百筋

◆スポンジタイヤ朝鮮一手販賣元一丸商會より扇數百本

◆東洋燐寸會社釜山出張所より車中用燐寸數箱

◆釜山水產株式會社よりは團員諸氏の釜山滯在中の食膳を賑はすべく團員の各宿泊所へ鮮魚を寄贈

鹿兒島縣下に奇病發生す

鹿兒島縣熊毛郡屋久島の內なる下屋久村字船行安房、原、尾の間、小島、平內等に六月十日以來系統不明の一種の奇病發生したるが該奇病は一昨年大島肝屬郡地方に流行したる例の奇病と同一病にはあらざるかと云へるが患者は最初惡寒を催し發熱して淋巴腺部節に疼痛を感ずるものにて腺節は是を腫節炎、淋巴腺炎と診斷しつゝあり而して當局に於て種々豫防を講じつゝあるも未だ終熄するに至らず既に十六名の該病患者を出し內二名は死亡したるが右の奇病に罹るものゝ多くが三十歲以上の男子（十六名の患者中一名の女あり）に多く球菌病の一種ならんと（大阪特電）

內地を荒した大賊、朝鮮に入込だ
兵庫縣より搜索のため警官十八名來釜

本年六月以來渡部兵庫縣內務部長、元同縣知事服部氏、野中神戶稅關長の各邸宅、東京にては青山の本鄕一郞、團長官邸等を初め大阪神戶東京等にて多數の官舍富豪を荒し廻りて三百餘件一萬數千圓の大賊を働きたる鹿兒島市西田町生れ

▲前科四犯服部章（三九）は內縁の妻なる神戶市雲井通一丁目長濱さだ（二三）と共に兵庫縣武庫郡西灘村岩屋按摩業北見宏範方に潜伏中を六月十三日御影署の手に逮捕され嚴重取調中同月廿日未明監視巡查の隙を窺び留置場を破りて脫走して六甲山に闖入したる形跡あるより特別搜索隊にて山を包圍する等神戶界隈を騷がしたるが巧みに逃亡して遂に逮捕するに至らず爾來一箇月間杳として行衛不明中なりしが同人は豫てより妻と思ひの男として突然本月二十日夕刻前記北見宏範方同居中のさだ及びさだの實弟田付明一の兩名に宛て

▲二通の封書到著したり

その手紙の裏面に『大愚』とあり而かも十九日午前四時七分朝鮮釜山局の消印あると共の手蹟が章の自書に相違なきを突き止めたる兵庫縣警察部にては朝鮮の警務總監部初め沿線各隊署に手配方を依賴し同時に篠野、荒金兩刑事部長以下に章の人相を熟知せる御影署の警官數名を加へ一行總員十八名を二隊として二十日の夕刻及び二十一日の朝との二回に神戶を出發せしめたるが一行は二十三日連絡船にて釜山に上陸し來りて搜索に著手したり因みに同人は殊更釜山に潜伏中の如く裝ひて郵書を發送したる奸手段にはあらざるかとも思はるる筋あり各地に打電して警戒中なりと（釜山）

婦人を蹴殺す
揃つた亂暴な兄弟

咸南文川郡龜山面錦湖里崔義煥（三一）は弟崔仁煥（二七）と共謀し六月末同面德時里車昌鳳の妹李寶培（二二）が義煥の妻李姓女を相撲見物に連れ行き李姓女が一時姿を晦ましたるより誘拐したるものと邪推して寶培と喧嘩をなし横腹を强く蹴りて死に至らしめたること發覺し義煥兄弟は此の程城底里憲兵派遣所に引致さる

船底に縋り漂流

鎭南浦三和町新井商店所有支那型帆船二十七號平南丸（十九噸）が十日夜黃海道長淵郡荒灘より貨物を積みて鎭南浦に向ふ途中同郡大救面船垈里沖にて强風に襲はれ錨綱を切斷され顚覆し乘組員金東元外二名は船底に取縋りて漂流中幸くも救助され一兩日前歸省したるが積荷六十三圓船體六百圓の損害なりと

◆蟬採り

金剛山探勝客の增加

今や漸く金剛山探勝季節に入りたる爲め南鮮及び內地より來遊する探勝客漸次增加を見るに至り元山の旅館の如き孰れも之等の客を以て滿たされつゝあり近く永登浦、大邱、釜山よりの團體客來元し探勝の途に就く可く通知に接し居れるが其他內地よりは學校生徒多數ある見込みなれば元山に於ては之等通過客に對し夫々便宜を圖る爲め目下準備中にありと（元山）

續いた災難

新義州濱町北方材木商に二十一日夜曲者忍び込み重量三十貫餘の金庫に現金百餘圓の外各種の證書在中のまゝ盜み去られたり金庫は同家を距る數丁の新義州小學校裏手に於て破壞しありたるを發見せるが忍び入りたる賊は二人以上なるべしと尙同家にては同じ夜鴨綠江岸なる納屋に格納しありたる價三百圓のワキヤロップをも盜み去られたるが更に翌二十二日朝は同じく鴨綠江岸に新築中なりし苦力小屋一棟倒壞せる由（新安州）

苦鹽に祟らる

京城孝子洞八番地金然軌（二〇）は豫て胃病にて苦しみ居れる內苦鹽汁を服用すれば快癒すべしと聞き二十三日午前九時頃自宅にて多量に飲用したる結果中毒して同日夕刻終に絕命せり

列車內に氷

鐵道局にては例年の如く本夏期に於ても本線急行列車及び湖南京元線直通列車一二等室飲料水容器に氷を溶解し置き乘客の使用に供する事とし不日實施すべしと

元山の海開き

元山にては每年八月一日を以て『海開き』と稱し夜曲灣內に紅提灯を吊せる數十隻の團平船隊を艤裝し小蒸汽船之を曳き花火を打揚げ一夜を海上に樂しむを例とせるが之を見むとて京龍仁方面より多數來遊客有るも本年は目下赤痢の流行せる爲め之を延期す可きか或は斷然中止す可きかに就き町內總代にて打合せ中なるが多分中止するならんと

伊藤痴遊を聽く

◆目下浪花館で開演中の新派講談界の泰斗伊藤痴遊の講談は東都に於て既に定評あり、京城では耳新しい事とてこの頃の酷暑に拘らず初日以來連夜滿員の好景氣を呈してゐる

◆二十四日夜の演題は星亨除名の議會、櫻田事件と安藤對馬守、豪快天下の糸平といふ得意の語り物だけに何れも面白く聽いた、其中でも星亨に關する講演は痴遊自身が星の人と爲りをよく知つてゐるだけに其の豪快な性格が眼に見ゐるやうで有つた何方かと云へば複雜でダレ易い議會の模樣なども極めて平易に且つ面白く聽かせた

◆痴遊の顏は甚だ多く、嚴しさうに見ゐるが其の講談は智識階級を問はず愛嬌たつぷりで女子供にも分り易い、是れが痴遊の定評ある所以であらう、豪快天下の糸平の一齣なども實に手に入つたもので覺えず手に汗を握らせるかと思ふと諧謔を交へて笑はせる

◆痴遊は何んな問題でも充分その眞相を極めて講演するので實に詳細を盡してゐる、隨つて普通の講談と違つて言々句々生氣が溢れてゐる、昔も今も變つた所も無く格別進步した所も無い、しかし是れが痴遊の講談の生命だと思ふ、數年振りで痴遊を聞いて感じたまゝ（完）

氷　昔の貯氷庫

王室用の氷‖昔の採氷の場所‖氷庫の設備‖成宗康成王の大喪

昔し朝鮮では氷を夏まで貯へて置いたものである、それがし寡聞の致すところ其の以前の事は知らないが、成宗の頃既に今の龍山で王室用の氷を貯へた事實が成俔著の慵齋叢話に出てゐる。曰『今（今日より四五百年前）の氷庫は即ち古の凌陰なり、東氷庫は豆毛浦に在て只一庫のみなるが此處の貯氷は專ら祭祀の用に供す』とあつて

◆冬季漢江から氷を切出すのは大變な騷ぎで、是れが爲めに京仕の文武官が多數狩出されてあつた。而して採氷の場所は嚴重な監督の下に楮子島附近で採つたもので之は汚水の流れを避けたものである。更に此の外今の西氷庫でも氷を貯藏し其の氷庫の數が八棟もある。何故そんなに澤山氷を貯へたかといふに、中央となく地方となく一般の高官が夏用ふる爲に貯へたのであるが、是れにも多數の文武官が專ら掛つて大騷ぎをして貯藏したものである

◆何でも氷を伐取る時には冬至漢江の水が凍つて四寸に凍結したとき初めて伐出すのである。ところが氷を採取する人が如何に多くつても、扨て伐取る事が出來ない。そこで村民が採取して係りの役人に賣つたものである。是を伐取る方法は葛の蔓綱を氷の上に張り通して、滑つて轉ばない樣になし、且つ柵の樣なものを江邊に設けて、凍る者を救ふ設備をしたり、又は凍傷に備ふる爲め樂藥を準備したりしたものである。斯くて愈々八月に入ると多數の軍人が出で

◆係官指揮の下に氷庫の修繕をなしたり、屋內の草根を直したりする、それから役人が一人、多くの軍人を率ゐて鴨島に往つて蘆を刈取つて來り、氷庫の上下左右四方に其の蘆を積重ねて氷の融けるのを防ぐ準備をする、ところが癸丑の歲とあるから、今より四百二十四年前即ち成宗の二十四年（我後土御門帝の明應二年）に掛りの役人が日夜酒に浸つて設備を怠り氷を多く融かして了つたので、王が逆鱗ましまし、掛りの役人を處罰した事がある。それから甲寅とあるから

◇其翌年は役人が極めて周到の用意を拂つて氷を貯へたものだから其翌年成宗康成王の大喪に際しても、喝寃用の氷は勿論、凡ての事に其の氷が役に立つたのみか、多の掛り口まで庫に氷があつたといふ。因みに成俔は其頃の大文章家で成宗の時登第し官は禮曹判書（大臣）まで進んだのであるが、燕山君のとき失脚して士禍を得、不遇の裡に病歿した人である。

南齊百畫會開催
會場 南山町花月
期日 七月三十日
縱覽無料
發起人及贊助員
小幡虎太郞　笠原寛美　高木壽　山口諫男　森啓助　松本長逸
河村千治郞　横田瀧三郞　村上天眞　牧山耕藏　增永十作　外數十名

社員急採用
簿記會計事務に精通したる士を求む自ら適任と信ぜらるゝ方は履歷書御送付又は御來談を乞ふ但し確實なる保證人二名以上を要す
京城漢江通四番地
移出綿絲業　東鷲社
電話龍山六四一番

絞染色講習會
今般當地愛國婦人會主催の下に本日より三十日まで講習仕り引續き一般の普及に應じ可申候間御希望者は左記の所へ至急申込相成度候
會費（三日間）三圓
遠方は電話又は端書にても差支無之候
講習は申込順に依りて定む
申込所
京城本町二丁目佐伯旅館內
日本庭家染色普及會
電話七三六番

眼鏡製作
今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも尙一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候

米國製金張玉付

品目	價格
九金細ズル	六、五〇
九金新線ナワ一匁三分	八、〇〇
十四金同一匁三分	八、七九
十六金同一匁五分	一〇、八〇
二十金同一匁八分	一二、九六
廿二金同二匁	一四、九〇
十八金縁ナシ玉付	一〇、〇〇
甲	三、五〇
乙	三、〇〇
丙	二、五〇

銀線 一圓卅錢以上二圓五十錢迄
赤銅 八十錢同二圓五十錢迄
赤銅金次分 一圓五十錢同五圓迄
鐵、ニッケル、穴明 五十錢六圓五十錢迄
植物用、織物用、礦石用 眼鏡各種
乙玉 六十錢より一圓まで
メニスカス玉 一圓五十錢より三圓迄
クリ山玉 一圓五十錢より二圓五十錢迄
サック 十錢以上一圓まで
各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候
京城本町一丁目（郵便局前）
中村メガネヤ
電話千百十七番　振替京城三四六番

債券
株式會社 勸業債券月報社 福岡支店（日本勸業銀行構內）
福岡市博多下吳服町　電話一五四五番　振替福岡九五〇番
（營業種目）◎勸業債券の現金賣買◎同月賦販賣◎債券公債類の擔保貸付◎勸業債券公債農工債券買付仲介◎日本勸業銀行月報債券時報申込取次

尾張本場 宮重大根
尾張國西春日井郡新川町（青物市場附近）
平野和兵衛
其他各種子定價表無代進呈

專賣特許 レスピラチン
卓絕なる呼吸器病新藥
本新藥は坪井、佐多三醫學博士、神中醫學士等の實驗證明せられたる最新藥にして肺結核、各期肺炎、肺尖加答兒、急性慢性氣管支炎、流行性感冒、氣管支喘息、百日咳等に奏効顯著なる藥劑なり
定價 粉末 十五入八十錢 廿五入一圓卅錢 五十入二圓卅錢 百入三圓五十錢 錠劑 百錠入 五百錠入 要送料
特約店 東京 三共株式會社 大阪 武田長兵衛 中村合資會社 小野市兵衛 乾保之助
◎說明書無料送呈 ◎各藥店に販賣す

驅梅新藥 ヨチシン
本劑は元大阪醫科大學病院皮膚病科教授德川先生の實驗報告に示す如く第三期梅毒に使用して奏効偉大なる最新藥なり
定價 一瓦入四十錢 五瓦入壹圓八拾錢 十五入二圓九十錢 要送料

圓形禿頭病新藥 ヨチシン軟膏
本軟膏は梅毒性各種の皮膚病疾患に對する特効藥にして殊に圓形禿頭病「タイワンハゲ」に使用し確實に奏効する新藥なり
定價 一瓦入五十錢 要送料

本店ハ藥品販賣、庶務、會計其他營業ニ關スル事務取扱
技術部ハ試驗鑑定研究其他技術ニ關スル事務取扱
合資會社 大阪化學研究所
本店 大阪市東區島町二丁目　技術部 大阪市東區伊勢町

西洋料理開業
私は支那人あります
私は今迄佛國公使館、目賀田男爵邸、津輕伯爵邸、青木堂に滿二十ヶ年間コツクをして居りました。今度始めて獨立營業して皆樣の御引立になりたいと思ふ事あります。總て原料を撰み直段は極安く御客樣の御口に合ふ樣差上ます事は自慢して請合ひます
御客樣澤山〱來るよろしい
七月二十五日開業
京城本町二丁目四五（元淸水材木店跡）
福海軒
主人 王文海 敬白
電話二七三七番

陸海軍拂下品改造被服類
EIGYo HINMOKU
兵器支廠拂下品乘鞍乘馬具附屬品一式
工業用革具帶革刀帶其他軍隊式堅牢靴
△夏冬メリヤス雜貨類新古作業服一式
◎右各品特別廉價にて販賣可仕候◎
大阪朝日メリヤス特約販賣店
京城北米倉町 村上商店 電話一一二一番

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町
朝鮮肥料製造所
電話二六三五番
京城岡崎町一四番地
朝日石鹼製造所
電話二五六四番 龍山電話九七三番 振替口座京城一〇〇四番

玩具卸商
薄利多賣出荷迅速は弊店の特色
京城本町一丁目
織田東洋館
電話二六九八番 振替京城二五六七番

花筐（六六）

松田竹の島人作

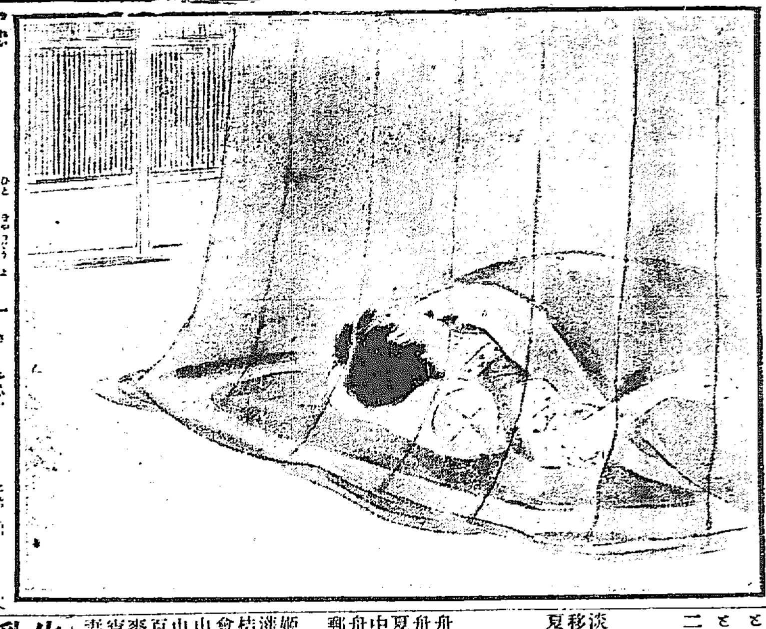
早見は、田淵方に泊めて貰ふことは、殘念でならなかつたが、何處といふて、一夜を明かす家がなかつたから無念を怺へつゝ、田淵と共に、江戸川端を通り、石切橋を渡つて、武島町の田淵方へ往つた。

最う夜も更けてゐるからと、直ぐ寢ることに爲たが、未だ夕食を喰べてゐなかつたから空腹で堪へられない程であつたが、それを田淵へ言ふことは餘り腑甲斐ないからと、忍び忍んで蒲團の中へ入つた。

蒲團は新しいし、敷布團はフックラと身體が潜るやうに綿が厚く、そして輕い麻の掛け夜具で、部屋は疊が綺麗であつたから、人は境遇に由つて、これ程差があるかと思つた。不潔い嘉七方の二階とは乞食小屋と宮殿程にも違ふやうな氣がしたから心持よく寢られねばならなかつたが、何故か眼が冴れて睡付かれず種々のことが胸に湧き起る。道麼綺麗な部屋、道麼清潔な寢具であるけれども何んとなく針の中に寢てゐるやうな氣持がして、寢苦しくつて仕様がなかつた。若しも田淵に實意があるならば、甚麼に心持よく寢られるであらうに、人は心持だと滲々感じた。

夕飯も食ふことが能きず、餓鬼のやうに腹を空かして、そして一夜を明すに家がないとは、如何に零落したとはいふものゝ、餘り其度が強過ぎる。これ位の部屋、これ位の寢具を綺麗だと思ふやうに成るとは、心が賤しく爲つたのに自分ながら愛想が盡きる。自分が日本鑛産株式會社の營業課長として、時めいた頃には此の位のもの何んでもなかつたが、心の置き處が違つた爲めに、這麼淺ましい身に成つて了つた。

今田淵の意に從ひ、鎌倉に往つて春子に逢ふならば、田淵は旅費の外に餘裕の生ずるやうに、金をくれるから、それで一時の急を凌がうか、けれども田淵は、會社の金を流用させて置いて、それを自地に爲た。言はゞ自分を陷れたのだから、仇敵も同じだ。仇敵の意に從ひ、其頤使のまゝに鎌倉へ往くことは、男として何んといふ腑甲斐ないことであらうか。



然う憤慨しても、今夜明すべき家がなかつた爲めに、其仇敵の家に泊めて貰つたのは、既に屈從してゐることに成る。五十歩百歩といふことがあるが、一の屈從に甘んじたからは、二の屈從も同じことである。狡智に長けた田淵のいふことであるから、全然信用は能きないが、自分が鎌倉の市野の別莊へ往つて、春子に逢ふことは、市野の不品行を改めさせる爲めとすれば、決して厭なべきことではない、寧ろ市野の爲めに進んで遣るべきことではあるまいか、可し、明日は鎌倉へ往くことを承諾しやう、然うして田淵から旅費を貰ひ、其剩餘で嘉七方の部屋代を拂ひ、そして預けた道具を受取つて更に何處かに座敷を借り、書きかけの原稿に筆を執ることに爲やう。其内には大森か、何處かの書店に、出版の斷を付けてくれるだらう。

今では、最う此外に取るべき策はない。屈從は男子の恥づべきことだが、往古から名ある人で、事を爲すに屈從を甘んじたのが往々ある。事を爲すには手段を選ばずだ。

早見は、田淵に對し、緊張してゐた心は、窮乏の餘り柔いで、遂に屈從する氣に成つた。恁う決心がつくと、心は平靜に歸した故か、スヤ〳〵と睡つて來て、目白不動で撞く午前二時の鐘が、仄かに夢裡に通ふた。

一つあげよか木村屋パンを など〻じらして憎い人 （京城明治町 電二八七〇）

皮膚科 入院隨意（診察夜九時迄） 皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目 佐藤醫院（電話一一七三番）

一日一句

初めて東に上る人に
淡路島夏かすむなど見なはせ 鳥兎
移り來て鷄放つ苺かな 案山子
夏草を折敷て鳥瞰す街の午 瀬村

□詩舫の一日（四）

（平壤例水吟社例會句稿）

舟
舟洗ふさと漣痒やく朝日 鴨原
舟の灯ゆるゝ港の夕闇 同
夏の江に何人の舟ぞ川浴びて 廣陵
中流に皷す舟もあり夏の月 孤鶴
舟に波ヒタ〳〵と夏の夜は更けし 芳宙
郵便船に島の南瓜を積て來し 同

百合
姫百合の香れし土に夕日哉 六轉
潅漑すヨボに百合咲く堤哉 廣陵
桔梗の下風に搖ぐ野百合哉 小嵐山
會堂の書灯されて百合の花 孤鶴
山坊の寛机に活けて薫る百合 如松
山百合の香に咽せかへる徑哉 芸窓
百合活けてひらり縫ふ背薦哉 隈山
麥酒瓶に百合挿してある机哉 龍泉
宵闇に浮く百合の花白き 鴨原
妻と親み今日も來て百合貰ふ兒よ 芳宙

衛生的朝鮮牛乳 病院御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

□俚謡正調

例會吟 根なし舍

兼題 傘（手なし）

三十四點（關小路）二十七點（浮裂島）二十點（浪廼家）、十九點（故火）、五點（久廼家）、四點以下略

盆の踊りが夕立で散つて、最合傘から戀が出る＝二點 大塚久廼家
紅屋出る娘の日傘を蝶が、追すがるよに來て覗く＝三點 同人
勸る番傘往く蛇目傘、中を私の最合傘＝四點 關小路太郎
菖蒲色浴く五月雨降れば、さした蛇の目に慾欲しや＝六點 小島浮雛島
雨の渡船場柳の蔭に、女なまめく蛇の目傘＝七點 高野浪廼家
最今ふ蛇の目に稻妻照らす、土手にや螢が火を燃す＝八點 坂本畝火
不意の夕立最合の傘を、人の噂が戀にする＝十點 小島浮雛島
見たかあの顔此いたか話、雨の夜更けの最合傘＝十一點 坂本畝火
降れば嬉い相合傘も、晴りや荷になる邪魔になる＝十二點 高野浪廼家
人＝十三點 小島浮雛島
傘の柄濡りが濡した袖に、君の香がある戀がある 地＝十四點 朧小路太郎
二人最合ひで擴げた傘の、浮名鹽んでおく戸口 天＝十六點 同人
晴れて逢ふ日はさしましよ日傘、雨の一夜は蛇の目傘

新刊紹介

▲少年倶樂部（八月號）夢想兵衛氏の「播り行く悪魔」の痛快壯烈なる長篇小說を初め「憐憫の手」「二十一人の插」少年講談「少年武俠」（お伽噺）其他少年小說、理科物語數十篇、其他各専門に上なく一讀巻を措く能はざらしむるものがある（東京本郷大日本雄辯會）

▲日本の關門（七月號）どん底に落ち行く女役哀話、滿鮮南滿統一に對し當局と識者の一考を促す、殖民省問題其他十五種（下關東京本部一四七時出版部）

▲面白倶樂部（八月號）碧亭、仰天子、美座の小說松乃家畿、翠山の講談落語其他數十の讀物は面白倶樂部の名に背かず（十錢東京本鄕駒込坂下町四八講談社）

▲現代の科學（七月號）齋藤泉說、相棲近して航行せる二船間の相互作用、科學の法則其他天文地學生物理化學の各部門如何（二十八錢東京府下澁谷二一五一戸直讓方）

▲奉天商業會議所月報（七月號）滿鮮鐵道併合と奉天、南滿洲土地貸借一班、滿洲通貨一班其他商況の好資料滿載（二十錢奉天小西關奉天商業會議所）

▲現代の實業（鄕土目標號）歐米の故鄕論と余の故鄕觀（鑑澤男）北日本の特色と其人物（大場博士）其他十名士の鄕土に關する論（十六錢五厘東京本所番場町一八其社）

▲商と工（七月號）戰後の經濟戰（河津博士）戰爭が教へたる重物經濟（村田博士）及工業兵站論に就て、營業物陣敗記等（三十錢東京麴町區有樂町一ノ二其社）

▲土木建築工學（七月號）河川に於ける沈泥測定に就て、護航設備の改良、有望なる北鮮水力電氣事業、三角測量の一例其他（三十五錢東京日本橋本石町一の一工學社）

讀者の領分

電車の風口に立つて自分獨りで涼しい風を吸ひ取る者があり、只一人の爲めに車中の外のお客は皆著い目を見せらるるのだこゝらに公德といふものが欲しい（乗客總代）▲昨今傳染病の流行期とて毎日赤痢患者などが出てゐるが中には屆出でもせず中には隠れて自分で素人療治をしてゐるものがある公衆衛生上見逃すべからざるものだ（厄病神）▲某教會の地所を鐵條網で大分侵して居る人が大頭にゐる教會では困却して居るだろう（三百生）▲水道料を納めに行くと天地玄黄番札を呉れる然るに呼出の時には單に何番と云ふ丈であるから待て居ると終ひには大目玉を食ひますがこれは無理です天地玄黄を讀めないものも多いです早く止めて下さい（迷惑生）▲龍山某町悉皆屋に羽織の紋を注文せしに一個の費貫三十錢との事京城の呉服店にては一つ十五錢と云ふので戻して呉と云へば三四時間の間に紋の形を切た故切賃三十錢請求せられる龍山に注文すれば一圓五十錢京城に注文すれば七十五錢龍山も發展せねわい（近江山人）

商況

大阪期米

廿四日後場 大阪期米當付二十二圓六十四錢△中限廿三圓十錢△先限廿三圓八十錢

▲舊け付閑散 大阪の鮮つさる人氣に二十四圓二十一付たるが金其他の買に二錢と擧げたる

▲依然動かず 同店の賣手餘石 同店の買千餘石

▲仁川現物外 ……

後場 寄付 二十一圓二十一錢 止 二十一圓二十一錢

廿四日の九月限

◎黑龍江の沙金

黑龍江沿岸に於ける露支兩國各金礦せられし沙金額は一百餘布度即ち支那秤四萬八千餘兩に達し其仕向地は主として天津なりと（哈爾賓）キットに加工すれば上等品を得と雖も昨年來の如く產地が需要地安の相場を顧す時は到底賣買の見込なし現

京日案內

普通 五十錢 一回前金 番外 一圓前金（但名一圓五十錢）
▲申込後中途掲載中止の節は返信料は特に返却せず
▲御照會の節は返信料を必ず御同封の事
▲御申込は成可く午前中に願ひます

給仕一名採用 市内に確實なる保證人を要す（電話一八三二番） 大平通二丁目 勸業貯蓄會社支部

生後四ヶ月男子乳母 御乳ある方へ預け度し希望の者は通知又は來談 京城黃金町三丁目三〇三 平方義 328

信用 古本と古樂器店 本町二五一 電二七二 ウッボヤ 振三二三 226

電話讓物あり 南山町巴城館降 吾郷 電話二〇三番へ 331

免許 やいとハリ 一回三十錢 本町二丁目三（總星横入）電一三二六 狩野 300

普 外 番

貸船 卅五人乘四圓五十錢より 貸船 卅五人乘三圓五十錢より九圓迄 龍山漢江川岸 佐藤取次 電話二二七 321

店員入用 十五歳より廿歳迄 京城本町四丁目 證人を要す（電話一四九二番） 米穀商 佐野屋 326

貸家 本町通五丁目 座敷八疊二階上付 門外に湯殿瓦斯電燈 電話の設あり 庭園の眺自慢なり 本町通五丁目三十九番地 電話一〇二番 329

公債株式現物賣買 東京合資會社 京城貫鐵洞 一五三 電話二三八一番 福島商會特約店 加藤商店

鑛物定量分析 明治町二丁目 本町一丁目 江戸川端入 （電話二七七一番） 田部分析所 314

はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應す 明治町 柔術道場 206

恩給年金 三年分迄無保險 五年分迄立替 南大門外御成町 西鮮支店京義線沙里院 一歩二厘手數極安 廣川商店 山口屋

最新刊

書名	著者	定價
最近支那經濟	永助	二、五〇
滿洲古林省	遼東新報	三、〇〇
支那大觀と細說	永井柳太郎	一、三〇
化學工業講話	島田愛一	一、六〇
主要岩石肉眼的鑑定便覽	小原忠夫	五〇
滿蒙山東物產誌	遼東新報	七五
全國株主要覽	ダイヤモンド社	一、四〇
南條文雄著 定價一圓卅錢		

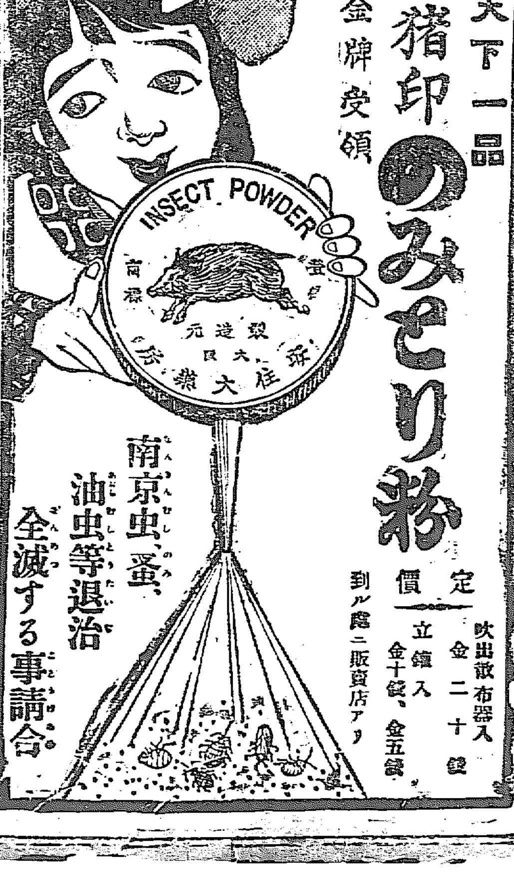
進むべき道

書名	著者	定價
小學教育の最近研究	帝國教育會	一、六〇
造形美術講話	佐久間政一	一、二〇
新美術史	齋藤隆三	二、〇〇
日本名勝案內	宇野高夫	七〇
傳說ローマンス	渡部霞樓	六〇
快傑內藏助	安藤朱雀	一、二〇
蟠龍院長兵衞	柴田瑞園	一、三〇
堀部安兵衞	稲本日南	一、〇〇
救急家庭療法	森紫舌	五〇

京城本町一 電話六六四 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

明治町佛蘭西教會坂下（黃金町入口） ドクトル 女醫 中村齒科醫院 電話一五八三番 分院（黃金町二丁目郵便所際）電話一八九番

一松丸太外弍種 右賣拂ス詳細ハ七月二十五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府



油斷大敵齒が腐る。

毎朝乾度 毎晩必ず ライオン齒磨をお使ひなさい。

それでお口は何時も清潔！

かくてお齒は何時も健康！

ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舖 東京本所區外手町 小林富次郎 支店 大阪東區備後町二丁目 名古屋市西區伏見町一丁目